明治三十五年二月二十二日發行（明治二十年十一月本會創立）

第三種郵便物認可（明治廿六年四月四日）　毎月一回十五日發行　內務省許可（明治廿一年二月廿八日）

婦人衛生雜誌

第百四拾七號

私立大日本婦人衛生會

婦人衞生雜誌

第百四十七號　目次

大日本婦人衞生會

總會通知

來三月一日（第一土曜日）午后正一時より晴雨に拘はらず本會總會を麴町區虎の門内東京女學館講堂に於て相開候三宅博士には先月の例會には病氣の爲め不參せられしが當日は出席せらるべく候尚又左記の講演、事務、會計報告等も有之候間萬障御繰合せ御知友御誘引御來會有之度候也●衣服は勤めて御質素の事●追而開會時間勵行

家庭看護法（看病法大意）　醫學博士　三宅秀君

演題未定　ミス、ヒユース

一事務及會計報告

明治三十五年二月

私立大日本婦人衞生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會

設立趣意書

[illegible]

明治廿一年十一月

首唱者總代

私立大日本婦人衛生會規則

（明治廿一年十二月改正）

[illegible]

會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送料として別に二錢を添へらるべし（郵券送一割増）第卅三條　會費は東京府下に限り毎月領收人差出すべし地方會員は總て前金とし小爲替にて本會事務所々在の郵便局（牛込）へ宛振出しあるべし第卅四條　會員中若し本會の體面を汚すべき所爲ある者又は屢々會費を督促するも納付せざる者あるときは會長評議會の決議を經て除名し若くは忠告することあるべし第卅五條　本規則は會長の意見又は會員二十名以上の賛成に依り總會の決議を經るに非ざれば之を更正することを得ず

東京市牛込區矢來町三番地

私立大日本婦人衛生會

●役員姓名

總裁　小松宮依仁親王妃　周子殿下

會長　侯爵夫人　鍋島榮子

副會長　濱尾作子

（いろは順）

幹事　鳩山春子
全　羽山三緒子
全　穗積歌子
全　岡田德子
全　高木かう子
全　松平方子
全　三浦教子

評議員　石川さだ子
全　濱田捨子
全　仁禮壽賀子
全　內[illegible]升子
全　男爵夫人　四[illegible]部子
全　[illegible]宮靜子
全　緒方悅子
全　男爵夫人　川口直子
全　男爵夫人　加藤鈴子
全　吉武輝枝子
全　子爵夫人　山中伊代子
全　高橋孝子
全　丹波貞子
全　男爵夫人　南部限子
全　中濱芳子
全　岡山とし子
全　山本多惠子
全　子爵夫人　松前[illegible]子
全　子爵夫人　松井正子
全　馬渡玉子
全　伯爵夫人　松平充子
全　子爵夫人　秋元宗子
全　三宅藤子
全　宮木榮子
全　宮下吹子

●支會

千葉、新潟、山形、宇都宮、茨城

本會特別賛成員

（[illegible]に本會に於て講演せられし諸氏）

醫學博士　入澤達吉君
理學博士　飯島魁君
ドクトル　伊澤信平君
地方視學官　色川圀士君
醫學士　伊東祐彦君
ドクトル　飯盛挺造君
醫學博士　伊藤隼三君
理學博士　石川千代松君
[illegible]　岩井禎造君
新潟　神原[illegible]造君
同　池田潔君
前文部大臣　濱尾新君
醫學博士　濱田玄達君
法學博士　鳩山和夫君
東京　[illegible]綱四郎君
醫學博士　芳賀榮二郎君
衛生局長　長谷川泰君
新潟　長谷川一[illegible]君

小兒科　小原賴之君
醫學士　林春雄君
醫學博士　緒方正規君
步兵少佐　堀內文次郎君
醫學博士　土肥慶藏君
醫學博士　岡田和一郎君
醫學博士　大澤謙二君
醫學士　大西秀治君
醫學博士　大澤岳太郎君
一等藥劑官　恩田重信君
醫學士　若杉喜三郎君
男爵　加藤弘之君
ドクトル　加藤照麿君
〃　賀古鶴所君
醫學博士　河本重次郎君
醫學博士　[illegible]村請德君
醫學博士　片山國嘉君
醫學士　川上[illegible]君
ドクトル　金杉英五郎君
醫學士　淺原光興君
醫學博士　高橋順太郎君
ドクトル　高山紀齋君
醫學博士　高木兼寛君
法學博士　高木豐三君
醫學士　田代義德君
新潟　田代亮助君
男爵　高崎正風君
醫學士　竹中成憲君
醫學士　高田耕安君
新潟醫學校長　高橋辰五郎君
藥學博士　丹波敬三君
醫學士　高橋貞[illegible]君
藥學博士　田原良純君
醫學博士　坪井次郎君

一等軍醫　横井忠閑君
大日本教育會長　辻新次君
理學博士　坪井正五郎君
中央衛生會長　長與專齋君
ドクトル　長與稱吉君
男爵　南部甕男君
藥學博士　長井長義君
新潟　長井千[illegible]君
醫學博士　中濱東一郎君
新潟　中村彥三郎君
醫學士　村松敏三君
醫學博士　[illegible]川宗維君
醫學博士　[illegible]本東明君
醫學士　山田鐵三君
大審院判事　馬屋原彰君
[illegible]　山根正次君
岡山　山川春二君
醫學士　丸茂文良君
衛生試驗所技手　丸山[illegible]四郎君
松山病院　松山棟庵君
ドクトル　小柴[illegible]郎君
[illegible]學校長　小西信八君
[illegible]島　小泉[illegible]貫君
醫學士　吉川榮君
東京　布施正顯君
[illegible]　後藤新平君
[illegible]　エ、ベルツ君
醫學士　甲野棐君
文部書記官　寺田勇吉君
子爵　秋元興朝君
前軍醫總監　足立寛君
ドクトル　新井[illegible]君
新潟　岡部[illegible]四郎君

產科婦人科　水原漸君
醫學博士　佐々木政吉君
醫學士　淺田[illegible]君
ドクトル　朝倉文三君
ドクトル　朝山[illegible]六君
醫學博士　佐藤三吉君
醫學士　櫻井郁二郎君
醫學士　佐藤恒久君
ドクトル　佐伯理一郎君
ドクトル　榊順次郎君
醫學士　榊保三郎君
醫學士　櫻井恒次郎君
醫學士　北村[illegible]造君
ドクトル　北川乙二郎君
醫學士　木下正中君
醫學士　北島[illegible]太郎君
醫學博士　北里柴三郎君
醫學博士　三浦守治君
醫學博士　三浦謹之助君
小兒科專門　宮本仲君
理學博士　箕作佳吉君
醫學士　三島通良君
醫學博士　三宅秀君
醫學士　三輪信太郎君
新潟　水野欽君
伯爵　土方久元君
醫學士　島村俊一君
醫學博士　弘田長君
ドクトル　須田[illegible]君
[illegible]病院　關[illegible]君
醫學士　[illegible]川[illegible]君
醫學士　波多野[illegible]君
醫學博士　吳秀三君
八王子　和田[illegible]君

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



[illegible]亭ニ於テ撮影

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演

歐米漫遊談　（於本會二月例會）

鳩山はる子君談話
佃速記事務所員速記

唯今田中さんが仰つしやつた通り、今日は三宅博士が俄かに御缺席になりましたに就て、何ぞ私に御話をして呉れろと云ふ副會長濱尾さんの御頼みでございますけれども、私は皆さんのお爲になるやうな御話はチヨツト考出されませぬからホンの責塞ぎに一言だけ申ますするのでございます、

皆さんは唯今水原先生の有益な御話を充分御聞きなさいましたから、私が長く御話をしますするのは却て御迷惑でもございませう、又貴婦人方もさう長く頭腦を御使ひになるのは健康上如何かと思ますから、私の話は御聞きになつても御聞きにならなくても側を御向きなさるとも些つとも差支はございませぬから、氣樂にして居らつしやるやうに、御笑ひなすつても宜しうございますから謹まずに御聞き下さいまし、

御存知の通り私は昨年の九月四日に横濱を出て太平洋を渡つて、亞米利加に參り暫く滯在し太西洋を渡りて英吉利に參りました、英吉利から佛蘭西へ參り、佛蘭西から獨逸へ參りまして復た英吉利へ歸りまして、今度は印度洋を渡つて一月の十一日に東京に歸りました、其間は先づ四ヶ月と八日でございました、斯く僅かの間に殆ど世界を迴つた譯でございますから、出來るだけ夜も晝も馳廻りまして、自分では餘程長く滯留をしたやうな氣がします、豫て自分が斯うであらうかと想像した所を實地に見又種々の

方面の人と談話致しましたのでございますから、自分ては非常に面白く有益てあつたやうな心持がしますが、併し私は何も特別に研究に往つた譯でもございませぬから、是と云つて貴婦人方に物識顔に御話をすると云ふことは出來ませぬから有益なことを話せと仰しやられると誠に恥入る次第でございます、たゞ私はこれ迄多くの男子方が旅行された如くホテルにばかり居りませんで彼地此地へ招かれまして方々泊り歩きましたので、よき家庭の様子を少し知ることが出來ましたので、ソレ丈け特別に仕合てあつたやうに思ひます、私はシカゴではフエビアンと云ふ紳商の家に四日泊つて居りました、其人は紐育克の方にも店を持つて居るんて、シカゴに永住して居る人てはありませぬから借家をして居るんてあります、其家は夫婦二人きりてございまして、家具は皆自分の物て、家だけ借て居るのであります、其の家賃が一ケ月七百圓てございますが、ソレて非常に安いのださうでございます、可なり大きな家てございますが、ソコの家は三人ほか召使を使ひませぬ、皆女でございますが、一人はコックて、二人が仲働てあります、家の中は奇麗に色々飾つてあります、此室のやうに壁に何にもかけてないと云ふやうな事はございませんで澤山額面がかけてある室内所々に絵だの花だの又世界中の旗だのを集めたりして隨分色々な装飾がしてありますから、ソレを掃除するには大變だらうと思はれますが、ドノ部屋へ往つて見ても塵一ッありません、さうして其人は金持ちてありますから友人などを招いて御馳走することが好きて、毎晩のやうにお客がありましても、些とも氣にしませぬ、又泊り客があつても別段忙しき様子も見へず、平氣て元氣て、非常に愉快さうでございます、ソレて私は能くマア斯う云ふやうに少ない人

數で掃除も奇麗に萬事行き屆ひて居ることであると感心しましたが、其上に大層餘裕があつて、倘夫人は稽古事などされます、勿論召使は銘々自分の受持のことを能知つて居りまして側目もふらで無言で働き居ますどうしても日本の召使よりは餘程餘計働き居ります、併し夜分などは九時を過ぎればどんな客があつても召使は呼ばないと云やうに見へました、日曜などは半分づゝ代りあつて出してやると云ふやうにして居りますが些とも面倒と云ふこともなく何事も愉快にして居と云ふ風で、誠に羨ましいことに思ひました、

ソレからエール大學の所在地のニウヘブンでは皆さんも御承知でございませうが、エール大學の教授ラッド博士とて先頃日本に參られて教育會で演說をされました方がございますが、その方の所に私共は十六日間泊つて居りましたが、此家も可なり廣くありまして、下には三ッの客間と食堂と臺所と女中部屋に物置きなどありまして、ソレから二階に五ッ間三階に四間ありまして、ナカ〱立派に裝飾してありますが、ラッドさんの家では女のコック一人、仲働一人、皆で二人で總てのことを致します、コックは日本では食物が單純でございますから大概は下女が一人で仲働が澤山居ると云ふ風でありますが、西洋では食物には餘程注意致しますからコックは一人抱へて置かなければならぬのであります、他は一人の仲働で萬事調つて居るのでありますが、何處へ行つて見ても塵が一ッありませぬ、一見不思議のやうでありますが、物に規律があつて毎日の事務に順序が立つて、之をしたら是から之をすると云ふやうになつてありますからであります、仲働は三度の食事に給仕をする外、寢床を直し、部屋々々の塵を拭ひ取り、一週間の中に一日は洗濯、一日は火熨斗を掛け

と云ふやうに、又部屋を割けて各の部屋を一週間に一度は物品を取出し掃除するやうになり此又一週に一度は夫人の受日の仕度も致します斯く何でも順序がチヤンと立つて居りますから仕事は運びをり、ラッド夫人は少しも忙しいと云ふやうなことはございませぬ、ソレでラッド夫人は隔日にはコックに能話を聞きまして、コレ〳〵の物品が要ると云ふことを自分の帳面に付け自身に買物に出かけられます、最も自分が持つて來るのではなく、町へ往つて乾物屋肉屋八百屋等にはコレコレの品を何程持つて來いと注文すれは先方より屆けます、ソレから西洋の人は晝間は他へ出るにも多く着物を着替へませぬ、チヨット婦人會へ行くと云つても平常の儘て出掛ます、晝間餘り目立つ着物を着るのは寧ろ恥かしい位に思つて居るのですから、出掛けるにも何の雜作もない、又奉公人を遣りに使ひませぬ、切手が買ひたければ自分が町へ出掛けて行つて買ふ、紙を買ひたければ自分で店に行き見立て買ふと云ふ風に、チヨットした入り用の品でも自分で出掛けて用便して召使は使ひません、私共かラッドさんの御宅へ參りますと直きにラッド夫人は私に會ふ爲めとて御友達の婦人を八十人斗十月十六日午後四時の御茶に御招き下さいまして當日は婦人斗七十人程入らつしやひましたそうでありますけれどもラッド夫人は些とも忙がしいやうな樣子もございませんでした、私などが客を呼ぶとモウ二日も三日も前から心配をして居りますが、さう云ふことはございませぬ、其前にも私と共に他に食事又はお茶に呼ばれたりしていつも通り外出されました、丁度其當日にもエール大學總長ハッドレー夫人から私共夫婦と一緒に、ラッド御夫婦もカントリー倶樂部と云ふ町を離れた所の田舍にクラブの家屋が建つて居る處に午後一時の晝飯に招かれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て一諸に參りまして面白くゴルフなどの遊びを見物し午後三時頃歸宅しましたが、今夕は大勢のお客が來るのに氣樂なことだと思つて、どうなさるだらうと思つて居りましたが、軈て歸りましてから見ると部屋の裝飾も何もチヤンと出來て居ります、ラッド夫人は私と着物の色が釣合ふ樣にと相談して着物を替へ私と並びて四時より來客を受けられました、尤も御友達の婦人四人斗か手傳に參られましてお茶やアイスクリームお菓子などを出して侑られました、食堂が狹いので七十人なんぞ這入れませんから見計らひて這入れる位づゝ案內しました、又招ばれて來た方も皆互にお友達でございますから銘々互にお話をして居らつしやいました斯る時に餘り澤山食しませず大概一二品で直きに止めまして次の部屋に參り又他の來客か替つて食堂へ這入りますと云ふ風にして、順序を立てゝ、何も苦なしにすら〳〵として行くのであります、私共などは今日は是からどう云ふことをしてソレからアレをしやうかなどぼんやり空しく考へて暇を費しますが、彼地の人ははき〳〵働きましてぼんやり考へに暇を費しません又手が足りないからチョッと來て手傳つて下さいと云ふと互に親切で喜んで來て手傳て呉れます、立派な所の奥さんでもお孃さんでも皆來て手傳をするやうな風で殊に若き婦人は上手に客を饗應するのも一の修業でありまするから悅んで手傳つて下さいます、ソレに椅子もさう澤山はありませぬから、皆彼地此地に立つて話をして樂しみ、物を食べるにも立つて食べます、少し其中で年を老つたやうな人は椅子に倚るのもありますが大概の人は皆立つて愉快に話して居らつしやいます。

どうしても西洋の女子は日本の女子に較べて二倍以上も働くやうに思はれます、是は一つには身體が健

康な爲であります、私も洋行をして居ります間は氣が張つて居りましたから、一生懸命に彼地の人と同じに働いて居りましたので、能く身体が續くと褒められる位でありましたが、歸京しまして同じ様に致そうと思ひましても夜になると疲れが來て働く事が出來ません之れではどうも折角遠方へ行つて來ても修業にならず詰らないと思ひましても、身体の發育が異つて居りますから迚も長くは續かないのかと思はれます、ソレから又西洋の婦人は外を歩くのが非常に多くありますが其中で亞米利加の婦人は別して多く歩き居ます、御承知の通り行つて御覽なすつたことはわりますまいが、繪などで御覽になつたらうと思ひますがニウヨークシカゴなどは電氣鐵道もあれば高架鐵道もありまして、五分間毎に發車をすると云ふことでありますがモット出るかと思はれます、それ故に歩かずに其鐵道に乘つたら宜からうと思われますが、汽車は一杯に人が乘つて居つてどうしても乘り切れませんで、人が澤山歩いて居ます、是から地下にも鐵道が出來ると云ふことでわりますが、其雜沓と云ふものは夕方の四時五時頃に至りますると、恰度神田のお祭みたやうな工合に歩いて居りますけれども、彼地には掏賊が居りませぬから、何も取られると云ふことはありませぬ、只コッチ側の人が向ふ側へ行く時には氣を付けなければ、鐵道が大變通つて居りますから、危いやうてあります、ソレを注意する外は別に不安心と云ふことはございませぬ、又後の人が前の人を押除けて行くと云ふこともございませぬから安心して歩けます、亞米利加の婦人が他の國の婦人より餘計に外を歩くのは矢張体格が他の國の婦人より宜いわけかと思ひます。

ソレから亞米利加ばかりでなく他の西洋諸國もさうでありますが、總て物價が非常に高い、高いだけ幸

福も便利も餘計得られます、其幸福と便利を得やうと思ふには非常に金が要るのであります、女中の月給にしても一ヶ月五十圓位のは高いのではございませぬさうであります、それからマアホテルなどでは床臺の他に居間を一つ借りますと、御飯を別にして一口の部屋代が大概二十圓でございます、ウヲルドルフホテルなどでは寢臺の他に一つ室を借りますと三十二圓より安くは借りられません尤も寢部屋などの便利なことは此地て想像の出來ない位でございまして、寢部屋には別に必ず湯殿と便所は付き居間でも夜半でも湯に這入れます部屋には電話も付いて居りますし、萬事便利になつて居ります、又ホテルの中には電信もありますし新聞店もありますし、チヨツとした本屋もあり其他色々便利に成て居りドンな高き所即ち七階八階の上に居つても、米國てイレベタ、英國でリフトと申す小さき部屋に這入り何階へと申さば瞬間に八階の上でも七階の上へでも持つて行きます其上下するには亞米利加が非常に迅速て御坐いますイレベタの數も澤山ありまして此方がふさがれば彼方を用ふるやうに出來をります、それは亞米利加では經費に構はずドン／＼餘計に金を使ひますから何でも他國より敏捷に出來ると云ふ譯であります、英吉利佛蘭西獨逸などでも此が設けてありますが、亞米利加から見ると餘程遜ふ御座います英國へ參りました時は私共が今度米國から來るからと云ふてロンドンの友人も私共の爲めに米國風のホテル即ち同所の最も當世風の便利のシセルと申宿を取つて置かれましたが迚も米國の樣に迅速には參りません實に米國は世界唯一の富國で開明も日進の國て如何なる便利も幸福も得られるべけれどそれを得るにはそれ丈け勉めねは決して得られませんなまけものは斯る國に於ては到底人間の仲間入が出來ません

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何でありますなれば一人前の獨立自由の人間たるには子供の時分からうか〳〵しては居れません、よく時を有用に用ゐ身躰を強くして、一生懸命に自由獨立の人間になる覺悟を以て事に當らなければならぬ譯であります此の心があるから米國は彼の如き大國でも一般の人智も進んで行くことゝ思ひます、それで勉強して何かよく出來ても其職業を得ない時には世に立たれませぬから、其點にも注意します、職業を得るには信用と云ふものが第一でありまして、殊に亞米利加の如き交通も盛に交際もよく行はれる所では、信用を得ると云ふことが最も大切であります一人が「あれは良くない」と云ふことになると、其人はどんな藝が出來ても誰も使ふ者がないと云ふのでございますから、子供の中から言語擧動を謹み何人にも無禮をせぬ樣に心かけ即ち知人に見放されぬやうにします、彼人は斯う云ふ缺點があるから可けないと云へば、今度はその人を紹介してやる人がないから雇ふ人がないやうになります、彼地では女中を雇ふにも大槪紹介狀を以て雇ふのでありますから、手前の家に女中がないと云へばアノ女は暫く何處其處で使つて居た良い人間であると云ふて紹介狀を呉れるやうにして、良い者はどこまでも世話をする替に惡い者は世話する人がないから職業を得ることが出來ませぬ、職業を得ず金がなければ最大の幸福も得られず、人間の仲間入も出來ないと云ふことになるのであります。

彼地では小さな家はございませぬ、皆大きうございます大槪商店は六七階から十階十二階位でありまして、紐育克の一番高いのは三十二階あると申しますが、近年追々昔の小さな家を毀して十五階とか二十階に建直すと云ふやうに高くして居ります、併し貧乏人は薄暗い部屋に這入つて居るにしても金がなく

ては居られませぬから、幼い時から怠けてばかり居る者は、他國へ逃げてても行かなければ、ならぬかと思ふ樣であります、人間が正直でなければホテルの人足などにも使つて貰ふ事か出來ません、此ホテルの人足及び女中給仕などもいづれも正直でございまして、私も色々の物を送る時にどうしたら宜からうと云うて帳場に聞きますとポータに頼んで下さいと申ました、ポータと云ふのは人足と申事でございますそこで其ポータに此荷を何處其處まで送つて吳れと言つて頼みますとモウ安心して立つて行ます、私は實は初の中は案じて居りましたのですか間違ひはありませんでした又私共が金ピンの類など寢部屋の所に置いて外出した時などは無くなつてもチヨツと分らない樣のものでありますか、歸つて見るとテーブルの上にチヤンと置いて吳れまして、決して無くなると云ふことはありませんでした、ホテルの方でも注意をして、大事な物は金庫に預りませうと認めて壁に粘紙して御座いますが若し紛失物でもありますとホテルの信用が落ちますから能く召使ふ者に注意して居るのでございます、無くなれば其部屋の受持の女中は誰であると云ふことを調べると直ぐ其女中の責任になつて來ますから、女中も注意して居りますので、決して紛失なると云ふやうなことはないやうで御座います、今申ますやうに、亞米利加と云ふ所は公德の進んだ國でありまして人々公共の爲めに盡す者へか非常に進歩して居ます、金持は其金を公共事業に寄附するのが名譽並びに樂みの樣に見へます、病院を立たとか、學校に寄附せしとか美術館を創立せしとか申人は指を屈するに暇なき程であります。

まだ色々お話をしたいのでございますけれども段々遲くなるやうでございますから長くは申ませぬが、

實は一つ私が困つたことがあります、自分の恥を曝すやうでござゐますが、船の中の甲板の上でデックピリアッドと云つて、長い棒を以て木片を或る一定に區劃したる場所に投くる遊びがありまして日本の男子は面白さうに西洋人と遊び居ました、これは極めて簡單の遊びでありますから私も試みにして見やうと思ひました所が、腕に力がないから木片を丁度の場所に投げることが出來ませんでありました、西洋の婦人は男子と一緒に面白さうに遊び居まして、實に殘念ではござゐましたが仕方ありませんでした併しカルタの考へ事など婦人斗同時に船長より敎へて貰ひましたがその時は西洋の婦人が別に理解が早いとも思ひませんでした却て記憶力が鈍いかのやうに思ひましたがどうも躰力は迚も比へにならぬと存しました、西洋の男子と女子の躰力の差は日本の男子と女子の差の如く著しくありません、ナカ〳〵女でも小さき男より脊の高い方もありますが、日本の女子は隨分脊の高き人が男子の低き人と比べて、男子の方が高い位と思ひます西洋女子の身躰が非常に發達して居るのは誠に羨敷思ひます、ソレで躰育のことに付ては日本に居る時から考へて居りましたが、歐米に行きまして益〻その考を强めました、私は日本の婦人は智力の養成も必要には相違なけれどもそれより多く躰力の養成に勉め米國婦人の如くよく働き萬事活發に愉快に而も容易事務を處理する事に堪へらるゝ樣に即ち最も、有爲の人間となつて欲しいと思ひます、餘裕があつたならば身躰の筋骨を强くする樣の遊びをせられむ事を望みます、大槪の働きにも遊びにも女子の身躰と男子の身躰と並んて行けるやうに、私いやうな弱き腕を持たれぬ樣になつて二日の仕事を一日に働くと云ふやうに能く働いて御出てになつたならば、人間は此の世の中に働き

に生た譯でありますから從つて二倍長く生きて居ると同じやうなものであります、生きて居つても碌々として暮して人の厄介手になり居ましては生き甲斐がありません、即ち活潑に有爲に働く事を樂しむ樣の習慣をつけて御暮しになるやうに望みます、貴女方はまだ御若い方々ばかりでございますから、今よりよき習慣をば作り爲されたならば一生の幸福社會の利益いか斗と存じ右一應申上ました次第であります。

（完）

小兒衞生に關する注意（附解員題號を附す）（於本會）

ドクトル　加藤照麿君述

佃速記事務所員速記

總裁宮殿下、貴婦人各位、私は最初此會で御話を致しましてから殆ど十年程になりますが、其間に格別新しい話もございませぬし、又隨分多用な身體でございますから御話致す榮譽を得ませぬ、今日御話致します事は、實は一ヶ月程前に御依頼になりましたので何か御爲めになるやうな事を見つけやうと思ひまして、自分の經驗を記してございます日誌などを調べましたが、皆な學術に涉ることで、貴下方に申上げても興味の薄い事ばかりで殆ど結果がなかつたのであります、又今迄小兒科醫として御話した人が餘計ありましてもう學術外に申上げる事は總て申上げてあるやうな譯で、新しい興味のあるやうな事は無いと言つても宜い、それで仕方がありませぬから十年程の間に私が目擊しましたり、或は不都合だと思ふやうな事に遭遇しました事を二三御話をしやうと思ひます、それで時間も漸く十分か十五分で御話し盡す積りであります。

それで今日御話致します事は、此會に御出になるやうな上流社會の御方は遭遇しない事がある、御承知

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てない事がございます、吾々が實驗して不都合ぞと思ふのは何れも中流以下にあるのでございます。

私が實驗致しましたのは年は憶えませぬが一昨年だと思ひます、十二月のコトデ、まだ寒の中でございませぬから左程寒くございませぬ時分、夜の八時頃、子供が生れたけれども急に悪いからと言つて呼ばれましたから參りますと、殆ど身體に血温がない、其子供はいろ〳〵治療を施しましたけれども叶ひませぬで歿なりました、併し其病源が判然しませぬ、それに付き病理を研究しませぬで只それだけでは自分の心持が濟みませぬから、段々產の經過を尋ねました所が原因が分つた、それは隨分物の分つた家でありましたが、是は少し吾々が常に申しました衛生と云ふことを取り間違へた結果ではないかと思ふ、それは產を致します始めに、俗に言ふ虫がかぶる、陣痛が始まつた時に其家に賴まれた醫者が、產婆の外座敷へ這入ることはならぬ、消毒がやかましいから臺所へ往つた儘這入つて來たり、譯の分らない素人は這入てはいかないと云ふので、產をした六疊の間に產婆が一人ぎりであります、所が子供が生れましてから袍衣が下りませぬ、袍衣と云ふのは度々他の人が申上げて御承知でありませうが、母親から營養を子供に送ります臍へ通つて居る管であります、產婆は大學あたりの產婆で、相當の手當は致して居りましたが不都合に感じましたのは子供が油紙の上にねかしてある、母親は大變出血して、一躰此生れると縮まらうとするものでありますから袍衣が半分程出て縮りかけて居ります、產婆學の方では母親も危險であるが子供も危險であると云ふ場合には、先づ母親を助けて餘裕があつたら子供を助けると云ふやうに教えてありますから、子供は油紙の上へねかして其間の時間が十五分ばかり、生れたばかりの子

供を其儘に置いて何か掛けると云ふ暇もない、外から這入つてはいけないと云ふので產婆が一人でやつて居る、是は產婆も少し不心得かと思ひますが、母親の方へ注意して居つた爲に鼻や口の粘啖を拭いてやることが出來ませぬで大方呼吸が出來なくなつて死んだものと思ふ、是などは誰も彼も其處へ這入つて往つて世話をすると云ふのは衞生學上宜くはありませぬけれども產の時には必ず產婆の外に家內のさう云ふ事を心得て居る人が附いて居れば斯う云ふ不幸は起らぬ、只消毒と云ふ事をやかましく言つて、產婆の外一人も入れないと云ふ事を言つた爲めにさう云ふ不都合が起つたのだらうと思ふのであります消毒と云ふことは結構な事でありますが餘りやかましく言ふとさう云ふ不都合が起る。

それから順序を立つて御話致します、或は御話致します事の中には、今迄御話のありました事と重複する事もありませうけれども、先づ子供に浴はせます湯でございます、大抵な所では井戸の水を沸して新しい盥でつかはせる、或は總領の生れた時の盥だと云ふやうな物を使ふ事があるかも知れない、さう云ふ風に仕來つたので、是迄は格別やかましくなかつたのであります、是等も普通の水よりは水道の方が分拆上黴菌が少ないのでありますからどうしても水道の得られる所では水道の水を用ゐたいと思ふ、それから盥も今迄用ゐた物は用ゐない、いくら淸潔な立派な盥でも古いのよりは、粗末なのでも新しく拵えた盥を用ゐる方が危險が少ない、大事に致しますと水道の水を一度沸騰さして百度以上にして黴菌を殺し其湯で子供に浴はせる、さう往けば宜しうございますけれども、それ迄にやらぬでも水道の水を沸しましたならばそれで足りるだらうと思ひます。

それで斯う云ふ事をやかましく申しますのは、子供

の中の病氣で一番怖い助けることの出來ないのは臍から附く病が多いのであります、例へば破傷風と云ふやうな、總て傷から這入る病氣、さう云ふのは殆んど救ふ道がありませぬ、夫故に若も黴菌でも湯の中に居ると臍から附くと云ふ虞がありますし、其子供が世の中に出まして一番初めに遭遇しなければならぬ事でありますから餘程風呂には氣を附けなければならぬ。

それから初生兒の膿漏と云ふ病氣があります、生れて四五日から眼から膿が出て遂に失明して了ふ、是は生れたての病氣でありますから餘程注意けなければならぬ、是迄初生兒の膿漏で盲目になつた者は百人の中に八十人と云ふ位に多かつた、所が段々產科が開けまして、產の前には能く消毒しまして、生れますと消毒藥の硝酸銀とか、昇汞水とかを子供の眼に注しますとそれを防ぐことが出來まして、近頃は大變少なくなりました、まだ注さぬ者もありますが、此節診ます小供は大抵消毒藥が注してあります、是は極く結構な事であります。

所が此間中から自分が考へて居りますのに、是は耳鼻咽喉科の先生に尋ねたら經驗があらうと思ひますがまだ機會がありませぬで聽くことを得ませぬが、此眼ばかりに氣をつけて居るが耳はどう云ふものかと云ふ事です、生れました時に赤ン坊の眼はやかましく言ひますが、耳に付いてはさうやかましく言はない、併し生れ立の子供に耳垂が出るのがある、あゝ云ふもの丶原因はどう云ふものか、是は耳科學の方の人に聽きましたら分りませうと思ひます、兎に角耳も出來得る限り掃除しなければならぬのですが多く打ッ捨りばなしになつて居る、今迄は頓と氣がつかぬやうに思ひます。

それからもう御聽きにありましたらうけれども子供

に用ゐます「しめし」でございます、此「おしめ」と云ふ物は一番値打の無いもので、自分が着て居た浴衣…勿論中流以下の御話をするのですが、自分が着て居つた浴衣の古いのを「しめし」にする、又役に立たぬ捨てるやうな物があれば「しめし」にしやうと云ふやうな、其布がいくら清潔であると言つても、それを洗ふてもどう云ふ水であるか、又乾してある時にどんな虫が來てたかるか分らぬ、さう云ふ信用の出來ない粗末な物を「おしめ」に用ゐる弊があらうと思ふ、是は今申しました臍又は腰部の方に直接に當る所のもので、最も病氣の感染し易い所に附くものでありますから、縦し古い物を使ふにしても能く消毒をしてある物でなければ大變危險な事であります。

又赤ン坊の便を拭く紙でありますし、最め袂から反古紙を出して揉んで使ふと云ふやうな事でなく、どうか始終極めて消毒してあるやうな紙を使ふやうに注意しなければなりませぬ。それから御承知でもございませうけれども「マクリ」と云ふ物は一切用ゐませぬ、今迄は子供が生れますと腹の中の惡い物を下すと云ふので「マクリ」を用ゐたものであります、それで「マクリ」と云ふ物には大黄など云ふ通じをつけと藥が這入つて居る、所が段々産科學が開けて其研究の結果に依りますと初めて出る母親の乳には大黄のやうな通じをつける効力があると云ふことであります、其初めに出る黄いやうな乳が「マクリ」なんて通じをつける効力があるのでございますから、外の物は飲ませなくも母親の乳を飲ませれば宜い、誠に都合の宜い事になつて居るのであります、それで一切「マクリ」はやらない、「マクリ」は廢めた方が宜いどころではない大變に害がある、「マクリ」から病氣を起す例がいくらもあります、それは學理に亘つた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事になりますから申しませぬが、さう云ふ例がいくらもあります。

それから大分多い事で、日々見又聞くことでございますが、牛乳の用方であります、是等も適度にやりませぬと大變營養に害がある、私共の所へ小兒を連れて參りますが營養から病氣に罹るのが大層多い、肥つて居るが營養が惡い、驚く程肥つて居ります、それは母親が乳が出ませぬで牛乳を用ゐて居ると云ふのであります、何倍にしたかと聞くと何倍に致して居ります、どうしてさうしたかと言ひますと、産婆に聽きました、斯う云ふ事を皆な言ふのであります、成程産婆もそれ位の事は大方多年の經驗で知つて居るか知れないけれども、醫者でないからそれだけの事を指圖する職權はない、それだけの信用をすることは出來ないから、産婆に子供を養ふ乳の薄め方を教えて貰ふと云ふやうな事は宜しくない、或は中には適當するやうな事もありませうけれども、さう云ふ場合には本當の專門でなくても醫者に相談をしたならばさう云ふ過りは除けるだらうと思ひます。

それから是はちよつと御話致しますが子供の營養法であります、近來一々病氣の治療をするとか、病氣を見附出すと云ふことの割合に營養學を盛んにするやうになつて來た、私が獨逸を去りましてから近頃の營養學の形勢は知りませぬが、彼方から參りました雜誌を參考に調べて居るのでありますから固より研究中で、斯う云ふ事を素人に御話するのは間違を生ずる種でありますから詳しい事は申しませぬけれども、今迄は十ヶ月か十二ヶ月位までは乳の外何にも與へては惡いと云ふのでありましたけれども、近來早く食べさせるやうに傾いて來た、八九月目にソロ／＼副食物を初める樣になりました、併しながらコ

ー云ふ事を直ぐに採つて行ふことは出來ませぬけれども、さう云ふ事を言ひ出す位の人があれば世界中で其事を研究して居りますから遠からず其營養法は斯うだと云ふ事を御報告する時機が來るだらうと思ひます、私共も及ばずながら研究して居ります。

それから大切にする家に限つて初めての產などの時に子供が生れますと直ぐ乳の撿査をする、神田の顯微鏡院などへ御やりになつて撿査をする、是に付ても御話しなければならぬ事がある、乳を顯微鏡で撿て貰つて惡るければ其乳は用ゐることが出來ない、善いと云ふ用ゐる、人の乳を吾々が顯微鏡で見ますると、中に球狀な乳球と云ふものが見える(圖畧)斯う云ふ風に揃つて居るのもあり又斯う不揃のものありまして、不揃のは惡いとしてあります、併し初めの中は誰の乳も不揃で三週間も過ぎると揃つた同じ位の大きさになつて來る、それで其母親に結核があり、又其他の黴毒とか癲癇とか、脚氣等がありましても其乳は變化致しませぬ、之を顯微鏡で見て此乳を飲ませると子供に種々な病氣を起すと親切に說明してはやりますが、一般に顯微鏡で撿てやつたから完全無缺であると云ふものでない、乳ばかりでなく其母親の健康診斷をして見なければならぬと云ふことに歸着するだらうと思ふ、てありますから顯微鏡で撿たから飲ましても善い惡いと云ふのはおかしいことで、大變危險いことであらうと思ひますが、一般に擴つて居りますから、醫者が一人々々に會つて言ふよりも斯う云ふ會の御方が廣く話して下さらぬと一般に及ぼすことは出來まいと思ひます。

それから是も十年前には人間の乳が一番良いから牛乳は成るたけ廢める方が宜いと云ふことを言つて居つた、今でもそれはさうでありますが、段々考へて見ますると、母親にいろ／＼な病氣があると其乳は

子供には飲ませてはならぬ、病氣を起すことがある、殊に今申上げた結核とか、脚氣とかゝある、さう云ふ時には親の乳より牛乳を用ゐるが宜い、併し牛乳を飲ませますと、護謨の乳首で形が違つて居る、牛乳を嫌つて飲まぬて困ると云ふ事を言ふて來ます、斯う云ふ場合には、子供を育てますには混ぜたくはありませぬが、人乳を牛乳の間に、日に一度なり二度なり、護謨の吸口を忘れないだけに人乳を飲ませる方が良いと思ひます、さうしないと餓死して了ふことがある、腹を減らして置いたら飲むだらうと思つて此方も根氣よく我慢をして居つた所が到頭飲まずして死んで了つたことがある、それですからどうしても人工營養と自然營養とは混ぜて行ふより仕方がない、是は私の考でありますが、大方他の諸先生方も同感であらうと思ふ、

それから乳が十分に出ないので困難する人がありますが、是は旨い物を食べたから出ると云ふ譯ではない、乳を能く出すやうにするには運動しなければならぬ、運動も只義務的に一町か二町も歩くと云ふやうな事ではいけない、其例に御話致しますと、乳は人も牛も生理學上同じであります、宮樣が箱根へ御出になるに付て、澁谷の御料地に居りました乳牛を二頭宮の下へ連れて往つた、所が其二頭の牛の乳の量が自然に減つて濃くなつて來たのであります、是はどう云ふもんであらうと云ふ事を牧夫を呼んで聞いて見ますと、運動が不足だからさうなつたのだと云ふのです、澁谷の御料地には廣い運動場があるが箱根では、四間に五間位の所に二頭這入つて居るので運動が十分に出來ない、運動が不足では良い乳は出ませぬと云ふのです、牧夫は生理學をやつた人でもないが自然の經驗でさう云ふ事を言ふたのです、私は之を聽いて大きに感心した、運動をさせなけ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れば、食物はうまい物を食べさして寝かして置いたのでは良い乳が出ない、人も矢張運動と云ふことが必要であると云ふ考を起しました、是は牧夫から聞いた事を御話するのでありますが、人も矢張同じやうな身體の構造になつて居りますから、運動さへつけば乳も出るやうになるだらうと思ひます。それから子供に乳を飲ませます時分に、右の方の乳と左の方の乳と左の方の乳を互違に屢々取替へて飲ませるのは宜しくない、左なら左を飲みきつてから右に移るやうにする、と云ふのは、牛の乳は



斯う云ふ風になつて居つて下の方へ濃いのが來て居る、所が人間のはさうでない、初め出るのは薄い乳で濃いのは後で出て來るのです、一方を半分飲ませて、又一方を半分と云ふやうにすると始終稀薄な乳ばかり飲ませるやうになつて大變に害がありますから注意しなければなりませぬ。

それから近頃は大變さう云ふ憂がなくなりましたが、持藥を飲ませると云ふ事をします、此持藥と云ふことは宜しくないのであります、固より胃にとる食物、營養物と、それから肺にとる食物、即ち空氣と云ふものが這入つて身體を拵へるので、藥で拵へる身體と云ふのはないのであります、それでさう云ふ事を言つて來れば能く言ひ聞かしてやりますけれども、あの醫者の所へ往つて持藥を賴んだけれども呉れないと怒つて外の家へ往つたと云ふことを外から聞いたことがある、それは私が惡く言つたのではないが母親の機嫌を惡くする位に藥を常に飲ませることを欲するのでありますが、病氣でもないのに飲ませる必要はないのであります。

それから子供が寒くなつて來ると呼吸氣病を起すか

ら寒い思をさしてはいけないと云ふことを申しますと、何でも餘計着せたら温かからうと云ふ考から、夜具のやうに厚い衣服を着て背負つたり何かして戸外へ出る人がある是れならば成程身躰は温かいでせうが口が開いて居るから何の役にも立たない、さう云ふ事は昔の人に多いので、身躰ばかり温かくしても肝腎な病を起す口が開いて居るのに外へ出ると云ふのはおかしい話であつて、尤も昔の人には空氣と云ふものが分らない、何にも無いと云ふ位ですからさう感ずるのだらうと思ひます、さう云ふのを自分が目撃することが度々あります。

續いて御話致しますのは子供に乳を飲ませます間に口を掃除することであります、是は誠に手數のかゝることでありますが、ちよつとした事で手抜けをすると、是から種々な病氣か起ることがある、是は只水で掃除しても宜しうございますがそれでは値打がない、硼酸水で能く洗つてやる、硼酸水よりも私の考へて居る所では曹達水の方が宜からうと思ます、口の中の腐敗して居るのかすッはくなつて居りますから、曹達は「アルカリ」で反對の作用を有つて居つて硼酸水よりも宜いと思ひます、曹達水で上下を拭つてやれば宜いのでありますから斯う云ふ事を擴めたいと思ふ、其結果は口から起る病氣を防ぐことか出來る、それから誠におかしい事でありますが、子供が咳が出ますと吸入をかけると云ふ事が一般に擴がつて來た、是は大變良い事でありますが、只水の中へ鹽を入れて、鹽水で吸入をすると云ふやうな事は餘程危險な事で、それて咽喉を刺戟して却つて惡くすることがありますから、子供の吸入は醫者に相談してからでなければ、行ふと云ふことは大變危險であります。

最後に御話致しますのは種痘の事でございます、種

痘と云ふことは結構な事で、是より外に天然痘を防ぐことは出來ないのであります、併し其植え方、又種に依つては大變な事が出來る、それから植える時機も注意しなければならぬ、今東京では種苗製造所と云ふものが出來て安心すべき痘苗が出來ましたが地方に參りますと、子供に植えて其子供から種を採ることが往々ございます、其爲に汚ないものが附いて居つたり何かして他の病氣か起る、是迄種痘の爲に他の病氣が起るものでないと思つて居つたのですが、他の病氣が起ると云ふので只今小兒科醫の研究して居る位てありますから今に必ず分らうと思ひます、天然痘は外に來ないか知りませぬが、種痘の爲に他の病氣を起した事がある、是は大變大きな問題で、斯う云ふ所で御話致しますと、種痘が惡いと云ふやうですが決して惡いと云ふのではない、天然痘を防ぐ爲に無論植えたが宜いのであります、それは第一吾々醫者の方からさう云ふ者を素人に及して、吾々小兒科醫者が先に立つて研究して種痘の爲に起る續發病を避ける方法を講じなければならぬ、是は日本でも著手して居りますけれども御話する程極つた結果はない、只ちよつと御話致しますと、能く御聽きにならぬと、種痘は怖ろしい病氣を起すと云ふやうに聽かれては大變です、さう云ふ風な御話をするのではありませぬ、種痘は結構な事であるが種の惡いのでは病氣を起すことがある、其結果を御話すると、自分達が種痘をしてから起つた病氣を研究致しまして、是が種痘の爲に起つたのだらうか、外の爲に起つたのであらうかと云ふことに注意して居ると云ふことでございます、是で御免を蒙ります。

寄書

鍋論

醫學士　竹中成憲君

鍋がなべ衛生上重大なる關係を有するかといふに鈍鐵ものゝみならは何も面倒なきも鍋に銅あり燒物あり琺瑯鍋ありて皆衛生上少からざる關係を有し近年は別て琺瑯鍋は一般の流行となりたるを以て世の注意を促す必川あり此鍋は例の瀬戸引鍋にして一名三德鍋という其理由は左の如しと聞けり。

第一、煎たる食物に臭ひを附與せず

第二、溫度早く傳はり食物焦附かず

第三、價廉にして便利

凡そ病には急性と慢性とあり中毒亦然り多量のものを一度に呑み其爲めに發するものは急性にして少量のものを久時例へは數月又は數年用ゐて其結果として來る害毒を慢性中毒症という。

例へは藥局に鉛糖（一名醋酸鉛）と稱する無色なる劇藥あり此藥の分量を誤り多量に內服したるときは急性中毒（嘔吐、腹痛等）を來たす而して非衛生的又は食器は其性に據り食物をして銅又は鉛を含ましめ中毒を起すに此食物中に銅を含む事は我國に於ても學者の實地問題となり我衛生局は夙に之に着目し東京衛生試驗所に於て東京市内の有名なる料理店に就き俗に「中酒」（會席にあらさるものをいう）と稱する料理壹通宛を密に買入れ正式の分析をなしたり其結果調理したる動植物中に左の如く銅を發見せり『コント』は『ミルリ、グラム』にして『ミルリグラム』とは凡一匁の四千分の一なり。

八百善	一、八四〇
平清	一、四三〇
松源	一、一三〇
花月	一、四四三
雁鍋	一、四四二
松田	一、三七五

此銅は彼等割烹具なる銅鍋より來るものなり（多少は惡意的製造の砂糖よりも來る）

然れども銅は鉛に比して害少きものなり愚見に據れは鉛は勿論八ヶ間敷いはさるへからさるも銅は此位なれはドウでも宜しと思はる時々此分析を行ひ一定の量を內規と定め之を超過せざるものは默許然るべし

レーマン氏の研究に據れは（二三年東京醫學新誌に譯文あり）左の成績を呈す『コンマ』は『グラム』にして我二分六厘强なれは前記料理一分析よりも遙に大なり即ち。

（一）〇、一乃至〇、三の銅を每日服用して數月間に到るも決して中毒する事なし

（二）一、〇乃至二、〇は嘔吐を發し或は下痢するに過きす

（三）四、〇乃至八、〇は人の致死量にあらず

銅にも慢性中毒と急性中毒とあり右の（一）は銅の慢性中毒の容易に來たらさるを示し（二）及ひ（三）は兎に角銅に急性中毒のある事を示すものにして銅に在ては此急性急性中毒を恐るゝのみなり大宴會の後數多の人々吐瀉を起し大に警察を騷したる例全國中には少からずコハ夏期に在ては折詰等の腐敗然らされは鍋より來れる銅にして彼の青き綠靑（ろくしよう）なり此の如く中毒を爲す程の鍋は許すへからす。

扨て毒物を用ゐて吐き又は下すといふは所謂『天然療法』（ナチユラール、レメヂー）にして宜しき事あり若し吐き又は下さゝれは蓋し其害遙に大也『コレラ』病に在て吐瀉するも然り『コレラ』菌の爲めに腹內に作られたる毒物は此天然法にて躰外に出さるゝもの

なり故に此の如き場合に周章して或は吐を鎮め或は下を止むるは造化の妙を破る所の庸醫なり他の病に在ても醫師は實に此銅の吐力を借り來りて病を治する事あり即ち毒物内服にはヂフテリアに於ける吐劑是なり吐劑とは吐を止むる藥にあらずして吐を起す藥なり此吐劑として醫師は硫酸銅を使用す運轉宜ろしきを得れは害物變して益物となるは他にも多くの例あり此銅劑も大量は危險なきにあらさるを以て我法律には一回二分六厘以上を用る事丈は特に注意しあり」要するに鉛は嚴禁す銅は此急性中毒に注意すべし何となれは鉛は小量つゝにても久時に渉れは害を來し銅の慢性中毒は殆んと恐るゝに足らされはなり人或は云はむ東洋人の顔色銅色なるは銅鍋使用の結果たる銅慢性中毒なりと是れ落語的の言なるのみ鑛毒事件の銅は人躰中毒にあらず土地中毒なり女子の用ゆる白粉は大底皆鉛を含む樣白粉に用ゆる『とうのつち」といふは明かに炭酸鉛なり故に俗用の白粉を常に多量に用ゆるときは遂に鉛の慢性中毒に罹る藝妓、娼妓又は常にめかし過る娘の齒齦(はぐき)を見よ間々黑く色染みたるものありコハ鉛の血中に入りて硫化鉛となりたる沈着物なるがこれのみなりせは外觀の醜なるのみなれとも、他に明に健康を害し神經系を侵す所の結果を來すものなり俳優にして此鉛毒に罹りたるものは新駒(今の芝翫)及び坂東秀調ならむ他にペイペイに澤山あるへきは論を俟たず此中毒の徴候は左の如し

腹痛、腹管收縮より來る便秘、遲脈、關節痛、神經諸痲痺、精神不穩、譫語痙攣、昏睡、失明(めくら)、羸痩(骨と皮)、手の震動

故に慢性中毒は好ましからぬ病なり原因としては上記の外『ラムネ』を忘るべからず『ラムネ』は製造の際鉛の之に入る事あり故に『ラムネ』は時々檢査を施

し鉛なきを證明するを要す瀬戸引鍋は琺瑯を掛るとき鉛を用ひ爲めに屢々鉛を含む事あり故に衛生上の注意を要するなり茲に於てか

明治三十二年内務省令第五十號(十二月十七日)を以て

飲食物用器具取締規則

現はれ翌年四月一日より施行せらるゝ十二條より成り要は左の如し

第一條　本則に於て飲食物用器具と稱するは飲食店割烹具其他飲食物の調製器容貯藏器又は量器を謂ふ

第二條　營業者は飲食物用器具を鉛又は百分中鉛十分以上を含む合金を以て製造し又は修繕することを得す

第三條　營業者は飲食物用器具の飲食物に接觸する部分を百分中鉛二十分以上を含む合金を以て蠟着し又は百分中鉛五分以上を含む錫合金を以て鍍布することを得す

罐詰用の罐に在ては營業者は外部の蠟着及蠟受の蠟著に百分中鉛五十分以上を含む合金を使用することを得ず

第四條　營業者は琺瑯又は彩藥を施したる飲食物器具にして之に百分中醋酸四分を含む水を容れ三十分時間煮沸するに其液中に砒素又は鉛を溶出するものを製造することを得す修繕に關して亦同じ

第五條　營業者は哺乳器具を鉛又は亞鉛を含む護謨を以て製造することを得す

第六條　第二條乃至第五條に違背して製造若は修繕したる飲食用物器具は之を販賣し販賣の目的を以て貯藏若は陳列し又は營業上に使用することを得す

第七條　銅又は其の合金を以て製造し又は修繕したる飲食物用器具の飲食物に接觸する部分にして鍍金剝脱したるもの又は固有の光澤を有せさるもの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

け營業上に使用することを得す

瀬戸引鍋釜(琺瑯引をいう)にして大阪府堺市淺香長藏氏製品に對しては内務省東京衛生試驗所は明治三十四年一月二十日左の報告を與へたり「右試驗の爲め當所へ差出したる品は内外面に琺瑯を施せる鐵鍋にして内面白色外面は類緑色なり今之に百分中醋酸四分を含む水を以て三十分間煮沸し其液に硫化水素を通するに殆んと變化なし依つて本品は庖厨用に供するも有害の虞なし」

京都の五條鍋屋は純錫引の鍋釜を作出せり是れは外國品と差異なく需要頗ふる多き模樣なれは漸次之に倣ふに至らんといふ

右の琺瑯鍋は大阪の琺瑯燒會社にて盛に製造す一日の製品千枚東京の支社(深川)にては二千枚を作るという。

赤色の土器例の「どぜうなべ」に用ゆる鍋は時として鉛を含む事あり有名なる淡路燒を淡路製陶株式會社の依賴に應じ分析したるに何れも鉛を含み居たるを以て爾後大に改良を加へたる筈なり之と同一の運命に遇ふたるは京都の洛手燒及ひ東京の今戸燒なり着々改良法を研究するにあらされは廢物となるべきなり。

特に注意すべきは是等のナベには醋(す)を入れて煮るべからさる事是なり決して此の類のナベにて醋を用ゆる料理をなすべからす」

○○罐詰も從來製造せられたるものは大底飲食物用器具取締規則第三條の規定に合格せさるものなり製造者は合成封蠟を使用すると能はざる爲一封度罐一個に付七八厘方除分の費用を要することなり當業者は何れも困難を感じ居れりという鉛の注意をを要するは總て鉛との關係を有する職業に在ても然り活版小僧の如き是なりとは書物に見る所然れとも予未た日本

に於て小僧の中毒せるを聞かす小僧安心して可なり錫(すゞ)は純粋なれは毒なし然れとも鍋にロウ(舍利を敷くときは又「ハンダ」と称し「ブリキ」に用ゆるものは錫に鉛を混したるものなるがゆへに同時に鉛の取締を要す。

又色素に砒素(例えは石黄)といふものを用ふ此砒素は頗る危險なる毒物なるに係はらず其色素を塗物、染物等に用ゆるかゆゑに砒素製劑の取締法あり左記の中着色料は即ち是なり故に鍋と共に取締るの必用ありと知べし明治三十四年内務省令第三十號を以て清涼飲料水營業取締規則有害性着色料取締規則飲食物及布片中砒酸及錫の試驗方を定む詳細は同年十月十二日の官報(五四八五)に在り(搦筆)

衛生叢談



●凍冱豫防

第二師團第五聯隊にて去月二十三日雪中行軍の際全軍殆んど凍死の慘狀を來したることは人のよく知る處なるが此際凍冱に就ての豫防談も又後日の參考とならんかと玆に物しぬ。

身体の凍えることは啻に寒氣に觸れてのみ起るものではありません長き旅餓に迫り漸々身体に疲れて寒氣の加りて爲めに起るのもあります又は酒のために醉ひ倒れ寒さに侵されまして遂には体温と知覺を失ふのもありますされども大雪の爲めに埋もれて凍えたるものは蘇生し易きものでありますそれは雪は動物の温氣を奪ひましても他に導くことが少いからであります。

凡て凍冱のために假死したるものを蘇生させようとしますには最も注意しなければなりません急うに暖めたり暖かき室に入れますときは必らず死するものでありますから先づ凍冱たるものには四面を開けひろげたる冷やかなる室に入注意を加へ衣服を着換へさせ其傍らに雪でもあれば其雪をとりて皮膚を赤くなる樣に摩るべし若し雪がないときは濕りたる布又は冷やかなる砂などを以て代へて摩擦するもよろし總べて此等の處置を行ふには人工呼吸を施さねばなりません人工呼吸のことも一寸と申しませう。

●人工呼吸

人工呼吸は胸を頸に壓し附けたり緩めたりして肺の中に新らしき空氣を入らしめるのであります先づ假死んだものを平らに仰向けて臥さしめ肩の邊に枕をなし稍々高く位せしめ枕ら元におりて兩腕の臂の上部をニギリ之を平均頭の上まで勢ひ強く凡二秒時間許り擧げ（此時一人は胸を壓すことをゆるめ）直ちに又を強く胸側におろし（此時一人は胸を強く壓し肺中の氣を排出するが如くなす）之を一生懸命に強く一時も或は二時間も爲し續くべし死んだものが自分の呼吸をはじめるときは通常顏の色が俄かに變わり蒼白き色は赤き色となり來るものであります此時に至れば暖かなる衣服を着せて其上を按摩し追々に暖まりを加へ遂には湯たんポ或は懷爐等をもつて胃の部、脐の下、股の間、足部等を温むるなり食べ物を取ることが出來るようになりましたならば温かなる養液即ち湯茶、珈琲、薄荷、寶丹、葡萄酒等を與ふるがよくあります。

●防寒の用意

防寒の爲めに最も注意せねばならぬことは第一が脚です第二は眼、第三睾丸女は腰部、第四手の指、第五咽喉、第六臍、第七耳、第八鼻でしやう之れが注意法を說けば。

脚は指の尖きと踵に注意し足袋、ツマゴ、靴等何れにても少し大いなる物を用ゐ其隙間には極めて柔らかなる藁を入るゝをよしとす之れは掛け替へを用意

し若し誤つて脚部をぬらしたるときは直ちに取り替へるようにせねば忽ち着具の凍結して感じを失ひ遂には両脚をも失ふに至るべし。

眼は眼鏡を用ゐるがよろしソレは色眼鏡なれは光線を遮り又寒氣を妨ぐことが出來ますが吐氣の爲めに眼がねの凍ることがありますから眼を掩ふ鳥尾にて織りたる深き眼鏡を用ゐるがよろし。

睾丸は眞綿をフンドシに縫ひ付けて包みよく温め置けば全身爲めに寒氣を感ずること少し。

手の指は成るべく毛皮の内ちかわに付きたる手袋を用ゐ若し得難きときは毛織モンパ製のものを用ふべし。

喉咽　毛皮或は眞綿の襟巻を用ゐ臍は同じく腹巻にて包み耳鼻も十分包み置くを良しとす。

此外空腹は尤も凍冱にかゝり易きものなれば食物はよく取らさるべからず少時間の休憩等に俄かに焚火等にて暖を取るときは身体疲勞を感じ身に着けし衣服の雪解け未だ乾かざるに着用すれば忽ち凍結して手足の働きを妨げ若し疲勞及空腹の加はり睡氣の催ほし來るときは左までの苦痛も覺えず遂にはその儘凍死するものなれは頗る注意しなければなりません

●不時の災難に遭遇した時の心得

不時の災難と云ふ事は随分世間に多い事であつて、例之ば今迄笑つて話をして居た人が起つ機會に、つりランプを落して大火傷をするとか、或は乘て居た車が顛覆して手や足を折るとか、或は渡し船が覆つて水に溺れるとか、或は藥と間違へて硫酸の様な劇藥を飲むだとか、或は狂犬に噛れたとか毒蟲に刺されたとか云ふ様な類の出來事は、殆んど日々の新聞に見ない事はない位であるから、其實ドレ位澤山斯云ふ災難に遭ふ人かあるかは、殆と想像外であろうと思ふ、手近い處で少しく多人數の家庭では、太した事はなくとも、ヤレ子供がころんで擦り剝いたのヤレ棘を刺したの、ヤレ下婢が庖丁で指を切つたのと云ふ様な事は、日々の出來事であるから我が會員

諸姉は豫め此等の塲合に對する處置を心得て居て、若し不幸にして不時の災難に遭遇した時に、直ちに適當な處置を施して可成災難の結果を輕減して、後日に遺憾のない樣に爲なければならないのである、斯く云ふもの丶諸姉に向つて決して醫者の代理を務めよと奨むるのではないので、それは上に述へた樣な不幸の出來事があれば、先づ第一着に醫者を呼びに遣る事が必要であるか、去りとて醫者が即刻間に合ふと云ふものでもないから、兎に角醫者が來る迄に相當の處置を施さなければならないのであるが、斯云ふ塲合に遭遇すると、素人は只だめんくらふ斗りて何んの役にも立たない、そうかうして居る内に不幸の穉動に依ると、助かるべき怪我人も其期を失して遂に落命する事がある、或は左なくとも素人が何も心得へずに餘計な事をすると、其の爲めに怪我人に尠なからぬ苦痛を與へるのみならず、一層病勢を增惡させる憂かある、此は記者が過日耳にした話てあるが、或る處て水道の工事をして居た人夫が、重量な土塊が墮落して來て足をつぶして仕舞つた勿論足がつぶれたのてあるから傷も大きく血は盛んに流れ出る見る〳〵當人は蒼白になつて今にも危い狀態となつたのてある、一緒に働いて居た人夫も飛て來る、近所の人々も駈けて來る、通行人も段々に集つて來る、見る間に怪俄人の周圍に人の山を築いたが、只だがや〳〵云ふ計りてドゥする事も出來ない、勿論其内に人夫の内の一人が醫者の許に馳せて往つたが、醫者の來た時には怪俄人は最早や多量の血を失つて、呼吸を引きとつた跡てあつた、若しあの當時少しにても救急の方法を心得て居た人があつて、血の出るのを止めたらば、眞逆かに死にもせなかつたらうと、之を眼の當り見て來た婦人が歎息して話された、又たもう一つの話は、或は人が親戚の男の兒を預つて居た、七つ八つの惡戯盛りてあるから同じ年比の子供が集つて、ねつきをぶつけて遊んて居ると、ドゥ云ふ機會か一人の子供の投げたねつきが、誤つて此の男子の足の大指に刺さつて傷をつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けたから、子供は血の出る足をおさへて泣て歸つて來た、此時に直ぐ醫者にかければ宜しかつたのであるが、例の素人流て煙草の粉や袂くそて血を止て仕舞つたのである、其日はそれで事は無つたが、翌日になると子供が太そう傷を痛がつて來た、それ計りでなく頻りに脊中が痛いと云つて訴へる、ドウも様子が變であるから大學の病院に連れて往つて診察して貰ふと、これは即刻入院させねばならぬとの事であるから驚いて入院させたが、見る〳〵容躰が惡くなつて翌日の未明に終に返らぬ旅に立て仕舞つた、子供を預つて居た人の驚愕は勿論、生みの兩親の悲嘆は察するに餘りある事であるが何とも致方ない次第である、抑も斯云ふ些な傷で俄に命を落すとは、實に不思議な事であると疑ぐる人もあるであらうが、之は少しも不思議はないので、ねつきの尖端に附着して居た土の中に、破傷風の黴菌と云ふ恐しい黴菌が混つて居て、之が傷の中に這入つた爲に、子供は終に破傷風と云ふ恐しき病に罹つたのである、斯云ふ例は外にも澤山ある事と思ふが、兎に角斯云ふ場合に、若し救急法の心得があると些細な事て貴重な人命を取り留る事が出來るのである、そこで今ま玆に本誌の餘白を借りて、極く簡簡に不時の災難に遭遇した時に素人の心得方、言ひ替へれば救急法の御話しをしやうと思ふのであるから、會員諸姉は啻に己れの身の爲めのみならず、人の爲めにもなる事であるから、熱心に讀んで置て戴たいのである、

（つゞく）



看護法

普通看護法（第十七）

在大學　Dr. T. S.

●浴法の事（前號の續き）

●全身浴

全身浴と申ますのは字の如く、身躰全躰を湯の中に

漬けるのでありますが、去りとて頸から上は出して置かないと呼吸が出來ません、扨て此浴法を施しますのには日本の風呂桶でも用が足りますが、最も好いのは西洋風の風呂桶で、患者が此中で足を延ばして凭れ掛つて居る事の出來るので御坐います、此風呂桶は木や、鐵や、大理石抔で造りますが最も便利なのは鐵で造つて之に瀬戸を掛たので御坐います、此は銹る憂もなく掃除をするにも都合が好く隨つて常に清潔に保存する事が出來ます、又風呂桶の下に車が附て居れば運搬に一層便利で御坐います、

扨て患者を入浴させますのには、風呂桶を病室に持て來て其處で入れても宜しう御坐いますが、水が溢れたり混雜を生じたりしますから、適當の浴室があれば其處で入浴させるが最も宜しう御坐います、浴室の構造は完全な事を望めば限りが御坐いませんが少くとも床が流しか叩きになつて居て水がよく流れて仕舞ふ樣に爲つて居り、ストーフなり火鉢なりで室内を煖める事が出來て、水桶が備付てあり日光の充分這入る樣な窓が付て居らなければなりません、其外尙ほ一つ太切なものがあります、それは浴槽檢溫器であります、又風呂桶は可成浴室の眞中へ据へて四方から中に手が屆く樣でなければなりません、扨て愈々入浴させる前には浴室は攝氏の二十一度以上に溫めなければなりません、決して攝氏の十八度半より低い溫度の部屋で入浴させては不可ません、浴室を此溫度に溫めて置てから、風呂桶の中に湯を入て浴槽檢溫器を湯の中に漬て其溫度を計つて始て患者を入れるので御坐います、浴槽檢溫器と云ふのは通常の檢溫器の周圍に木の枠が付て居て、物に當つても毀れぬ樣に造つてあるので御坐います、勿論之が手許になくば通常の檢溫器を代用しても宜しう御坐いますが、通常の躰溫を計る檢溫器には三十五度以下の目盛りがありませんから用が足りません、室内の溫度を計る檢溫器即ち我々の寒暖計と呼んで居る物を用ふれば宜しう御坐います、併し日本で用ゐて居ります寒暖計には華氏の目盛りのものが多く

御坐いますから之を用ゐる際には豫め之を攝氏の目盛りに引合せる事を忘れてはなりません、(撿温器の目盛りの引合せ方は三十三年末の本誌に載せてある表を用ゐれば容易で御坐います)、

次に湯の温度や入浴時間の長短は病氣の異るに從ひ變化しなければなりませんから、其都度醫者の指圖を仰がなければなりません、併し醫者の方では大概全身浴の種類が四つに分けて冷浴、微温浴、温浴、熱浴として居りますから、醫者が此内の一つを命じましたならば次に御話し致します樣な温度と時間とを用ふれば好いので御坐います、

扨て◎冷浴と申ますのは攝氏の二十度から三十五度迄の湯の事で、時間は一分間から五分間迄であります、

◎◎◎微温浴と申ますのは攝氏の二十五度から三十度迄の湯で、時間は五分間から十分間であります、

◎◎温度と申ますのは攝氏の三十度から三十五度迄の湯で、時間は十分間から十五分間であります、

熱浴と申すのは三十五度から四十度迄の湯で、時間は五分から高々十分間位であります、

勿論此は大人に就て申しましたので、小兒は此半分の時間で好いので御坐います、此の外又醫者が湯に色々な藥を混ぜて之に患者を入れる事が御坐います、即ち藥湯の事で御坐いますから、今最も多く用ゐます藥湯の拵方を二つ三つ御話し致して置きます、

石鹸浴　此は湯に石鹸を混ぜたので御坐いまして、通常の石鹸を細く碎いて之をソップの匙に四つから八つ位湯の中に溶しまする、或は又手掌一杯に加里石鹸を用ゐても宜しう御坐います、

曹達浴　此は粗製の曹達二百五十瓦位を湯に溶すので御坐います、

ヅール浴　此には海鹽或は粗製食鹽を二プロセント乃至三プロセントの割合で湯に溶せば好いので御坐います、

糠浴　此には三千瓦の小麥糠を麻の袋に滿し之を六

千瓦の水て三十分間計り煮出して、一旦冷まして後ち此煮汁を湯の中に混ぜるので御坐います、

麥芽浴　此には二千瓦の大麥の粉を麻の嚢に入て六千瓦の水で三十分間位煮出して、此汁を湯に加ふれば宜しう御坐います、

松葉浴　此には松葉を燒酎かアルコールの中に浸して置て、此から出た汁を一合か二合位湯の中に混ぜるので御坐います、

芥子浴　此には二瓦の芥子油を十五瓦のアルコールに溶したものか、或は又二百瓦の芥子粉を水でかいて之を湯に混せれば宜しう御坐います、

硫黄浴　此には五十瓦の硫化加里に二十五瓦の粗製硫酸を加へたものか、或は又次亞硫酸曹達百瓦は食鹽五十瓦を加へたものを湯に加ふれば宜しう御坐います、此の浴法に付て注意を要しますのは風呂桶の事で御坐いまして、亞鉛や大理石の風呂桶は用ゐては不可ません、木製の風呂桶で宜しう御坐います、

昇汞浴　此浴は又水銀浴とも申しまして二瓦から十瓦位な昇汞をアルコールか水て溶しまして湯の中に加ふるので御坐います。

次に患者を湯の中に入れましたらば直ぐ時計を見る事を忘れてはなりません、又假令ひ患者が左程弱つて居らなくて獨で湯に這入る事が出來ても看護をなさる方は決して患者の傍を離れては不可ません、必ず浴室に居て色々と世話を燒き、浴室の温度や湯の温度に注意し、又不時の事件の起らぬ樣注意をせなければなりません、患者が湯に這入て後ち氣を失つて湯の中で溺れた例は尠くありません、

重症患者で手足の利かない人を入浴させるのは一人では六ヶ敷御坐います殊に斯云ふ患者を風呂から出すのは一層困難て御坐います、之には豫め蒲團の上に丈夫な「シーズ」か何にかを擴げて置て此上て患者の衣類を脫がし「シーズ」共に患者を湯の中に入て、出す時には「シーズ」の端を持上げて出せば至て容易で患者も亦苦痛を感じませぬ、次に蒲團の上に大きな「タヲル」或は木綿の布を擴げて置て入浴時間

が終るや否や患者を湯から出して此蒲團の上に寢させ、敷きてある「タヲル」なり布なりに水分を拭ふて後ち衣類を着せて病床に移し安靜にさせなければなりません、又寒い日には入浴後寒い風が患者に當らない樣に注意をせねばなりません、

以上述べた外に持續浴と云ふのがあつて、病氣に由りますと患者を一日二日も攝氏三十五度から三十七度位な湯の中に寢かして置く事がありますが、之は病院裝置の場處でなければ出來ませんから只だ斯云ふ浴法のあると云ふ事を承知して置いてくだされば宜しいので御坐ります、（つゞく）

抄録

●妊娠制限法

二六新報記者は同紙上に妊娠制限法を連載して我國は系統を貴ぶ國柄なるも遺傳性の子孫を遺すは國家の爲めにも子孫の爲めにも不利にして此實行は自然に國民の體格腦力を强からしめて人種改良の實を擧げ一方には著しく罪惡を減少して社會改良の效を奏するや疑ひなしとて彼の眞田昌幸が信幸、幸村の如き英才を出せしも常に夫人の健康に注意せしが爲にして古來歷史上の英傑人物に就て詳細なる妊娠前の狀態を調査することを得ば明確なる一道の法則を發見すべしとて終りに其實行方法三種を擧げたり。」

記者は彼の德望なる英國のビザント夫人の說を紹介して曰く子宮はゴム環にて口を締めし袋の如きものにて或る場合に僅かに之を開き遂に妊娠することあるものなれば制限法の第一は其場合に子宮口をふさぎ置くにあり而して之を塞ぐに使用するものは子宮に入り込むの虞れなきもの又總ての點に於て無害なるものならざるべからずとて夫人自から廣く婦人に告げて得たる經驗により左の三種を紹介すと。

第一　溶解壓定器（挿くす）(The wifes friend" Soluble pessary)

是れは彼のビザント夫人か廣き經驗により最とも

無害利便なりとて勸告せらるゝものなり未だ我國に販賣所なきも醫家に就て求めば得難きにあらざるべし

第二　護謨壓定器(India Ralber check pessary)
是れは英國より取寄するの外道なかるべし

第三　海綿
是れは最も普通に得らるゝものなれとも海綿は必らず胡桃位ひの大きさにて極めて清潔なるものを撰び之を溶解せる明礬又はドクトル、ベルフレー粉中に浸し極く細き紐にて中程を縛り用ふ翌朝まで其儘になし置くも可なり尚第二と第三とは規那鹽を用ふるもよろしく海綿に用ふる分量は三合一勺の水に規那鹽六匁九分を溶解す尚萬に一失なきを欲せば後ちに至り壓定器を出す前水三合一勺に規那三匁四分五厘を溶解し安全に出來たる水銃にて洗淨すべし

何れの場合に於ても第一に注意すべきは是等を用ゐる前に手の爪を去つて汚れたるものゝ附着する隙間のなきようになし消毒石鹸又は石炭酸等にて極めて清潔丁寧に洗ふにあり然らざれば不測の病に罹ることなしとせず努め〳〵此大切なる注意を忘るべからず云々

因に記す第一第二等の品の倫敦に於ける販賣所は 26 Great Beth Strat, don Road, Earring—London, E.C.

●兒童の懲戒　大日本私立衛生雜誌質疑欄に小學校令第四十七條の兒童に加ふる懲戒の程度に就き一會員の問ひに三島醫學士の答て曰く

小學校令第四十七條に於ける懲戒なるものは兒童の健康を害せざる範圍内に於て之を行ふべきものとす云々

●墨汁の傳染的危險　近頃獨逸ミンデン縣知事は殊に學校生徒の使用する洋墨汁の危險に關し其管下に告諭を發して曰くインキの中に殆んと常に黴絲菌(カビ)及他の有害なる細菌を多量に含有すること撿査に由て明白となれり而して使用後蓋を掩はざるイ

ンキ壺は斯の如く細菌を含むこと最も夥し、天竺鼠、家鼠、及溝鼠等の如き小動物に右のインキ細菌を接種するときは一二日の後直ちに斃死すと是によりて見れば彼のインキを尖端に含めるペン先きを以て微少の刺創を受けたる人が往々死亡せることあるの理由は自づから明瞭なり學校生徒の多數にペン先きを口にて潤すの惡習慣あるは人の知る所にして之れが爲め右の有害菌類を唾液中に混入せしめ次に胃腸内に達し設ひ直接の血清傳染を來さゞるも遂に疾患を誘起することなしと云ふ可からずと本邦の硯池中にも隨分久しき間墨汁を放置し往々又之に浸したる毛筆を舐るの人あり宜しく此告諭に鑑みて注意する所あるべきなり又細菌學撿査の一課題として硯池中及矢立中の細菌を撿するも又多少の興味なきに非ざるべしと。（大日本私立衛生雜誌）

●梅毒と胎兒との關係　凡そ父母に梅毒ある時は如何なる程度に於て其兒に害毒を及ぼすべきかそは其毒力の如何によりて異なり最も強きものは數週乃至數月にして胎兒を流產し或は子宮内にありて軟化中等度のものは多くは早產を來し生活力弱く日を經ずして死するもの多く最も弱きものに至つては外見著るしき變狀なきも一般に腺病体質を具へ該種の疾病に犯され易く頗る危險なりされは梅毒感染者は幾年にして結婚を許すべきかは人により說あるも一般に感染後三年乃至四年は規則的に驅黴療法を行ひ後二年を經て疾病の徵なければ結婚を許して可なるが如しと最近の產婆學雜誌に南川親祇氏は尚實例を擧げて說かれたり。

中外彙報

●新年御製

新年梅の御題にて畏きわたりの御製を承るに

御製

たちかへる年の朝日に梅のはな
かをりそめたり雪間ながらに

皇后宮御製

大君の千代田の宮の梅のはな
ゑみほころひぬとしのはしめに

東宮御歌

あらたまの年の始の梅のはな
みるわれさへにほゝゑまれつゝ

東宮妃御歌

あたらしき年のほきことといひかはす
袖にもかをる梅のはつ花



●鳩山夫妻歡迎會景况

去月二十日午后五時より本會及び大日本婦人敎育會役員の發起により鳩山夫妻歸朝の歡迎會を兼ね兩會役員の新年會を麴町富士見軒に於て開きたり會するもの內外貴女紳士四拾餘名濱尾夫人先づ開會の主意を述べられ次ぎて鳩山夫人の挨拶あり今其大要を記さんに「今日は皆樣の御忙しく又御寒むい所を私共の爲めに御集り下さいまして誠に身に餘りたることにて深く御禮を申上升昨年出立の時には特別に送別會を御開き下さいまして洋行中とても御厚志は忘れませんで總てに耐忍することが出來只の一時間も無益にせず有益にすることのみを愉快と思ひました僅かの旅でありましたが忙しく澤山見聞致しましたから自分には一年餘りも旅行した樣に思ひましたが其間は誠に有益に暮しました。歸りまして新聞の切拔を見ますと私が大變に得意に自慢話しをした樣で驚き入りましたが私は自分と云ふことよりは日本婦人と云ふことに重きを置き固より事實のないことは申しません今迄日本婦人に就きて外國人の誤解して居りましたことは充分解いた積りです新聞にありました樣なことは御座いませんから其邊は御安心を願ひ升とて是れより橫濱出帆の當時よりエール大學紀念會に臨まれしこと倫敦巴里伯林等を歷遊し其間至る處紳士紳商貴婦人の歡待を受け交際せられたることを話され次に是迄日本人は亞米利加婦人の兎角デスキもの丶樣に思ひ居りましたが米國の家族の內に居つて見ますと僅かの女中でよく家庭のことを

治又よく公共事業に盡しすよとてあります極て內氣の人にても少くも二三の會にに盡力して居まして傲慢てなく親み安く淡泊にて例へば八百屋にも己れの女中にもやさしく物を言とは誠に感ずる外はありません米國は物事奇徴にて非常の便利と幸福とは益々增進して參りまして將來どの位進歩するかと驚くばかりてあります是れにはいろ〳〵原因もありましやうが米國婦人のよく盡すと云ふことは與りて大に力あることゝ思ひます云々と述べられ暫らくして武田錦子には先づ無事歸朝の祝詞を述べ最後に曰く兩氏は西洋の所謂三ッの位置(即ち健康、幸福、名譽)を全うして歸朝せられましたので此三ッの內でも健康が第一で御座いますのに御兩人共立派な御身躰になり御歸りになりましたのは誠に喜ばしい事でありますと云々と局を結ばれ宴終り談話室にて鳩山博士には大畧左の意味にて演述せられたり。

●鳩山博士演說

「今日は御伴のつもりでありましたが御勸めによりまして御伴らしく小さくなつて御話しを申しますと、先づ滑稽的に冒頭を置き此度は短い旅行でしたが亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸等何れに參りましても日本の男子が氣の毒てならないソレは大低皆獨身者なので腰掛主義に行くならば兎も角其土地に十年と二十年居る考なればドウしても妻君同道で往かなければ充分なることは出來まい「シャッドル」にて見た處では妻君携帶費を貰ひ居る領事などは夫人同行もあるが其外勞働者は二萬人も居との事です其內妻のあるものは數へる位ひで‥‥夫れ一夫一婦の同居は世の原則であるのに右の事實であり升日本には外國人の女も大分多く來て居りますが英國の如きは世界を部臺にして居ッて何れの國へ參るのも平氣です日本の如きも自分の智識技能のかなつた處なれば島國根性を捨てゝ日本村の村長になつても仕方ない宜しく世界的志想を發はねばならぬ夫に就ては婦人も又大に奮發して北極であれ南極であれ夫の辛抱する處ならば妻も又辛棒しなければならぬ未婚の方は勿

論既婚の方も勇氣を以て日本の舞臺は世界なりと云ふ心持ちならばドノ位幸福を得ましやうかナゼ「シヤトル」に居る人の心持ちが腰掛主義かと云ふに日本婦人の海外に於て生活を共にすると云ふ女が少ないとの事です嘗て支那人が亞米利加人に排斥せられし理由は二ツあり升一は見る通り豚尾の野卑なるのと第二は亞米利加の金を持ち返りて其土地に殘さぬことにて日本人の排斥されしも又此理由です世界を舞臺とする以上は妻君同道で歸化する位の意氣込で若し日本人を排斥すると云ふ樣な事が起ッたら多數の者が共和黨なり民政黨なり何れか利益のある方に加擔して投票を與へる樣にして日本人の利益を圖ると云ふことにしたら日本人の勢力は實に盛大となりましやう是れには婦人方が又ソウ云ふ風の勇氣を出さなければならならと思ひます云々と述べられ次に山根正次君の衣服に關する演説等ありて七時過ぎ散會せしが中〱に盛會なりき。

●鑛毒問題　田中正造氏の直訴より一層火の手盛んとなり續々被害地視察に上る有樣にて矯風會長なる潮田千勢子氏にも又視察せられ救濟會を起し鑛毒被害貧難者の爲めに金品を募り毎日新聞社にて取扱ふと云何樣近來の大問題なれば本會も技師出張の幸便を借りて視察のことは依托し置けり。

●馬鈴薯の効能　馬鈴薯は西洋人の食料として重要の地位を占むるは人皆之を知る近刊の米國農務局年報に曰く馬鈴薯の食料たるは澱粉を含むこと多きが爲なり水分最も多ければ食料としては不經濟なるに似たるも然らず例へば米の如きは同重量の馬鈴薯に比すれば榮養分を含むこと四倍の多きを占むるも之を食卓に上すには水若くは牛乳を以て之を調理するが故に馬鈴薯と同分量のものは實際榮養分を含むことと相讓らざるに至り元價は却て廉なり馬鈴薯は主として澱粉なれば人の筋力を發成するに大効あり但し纖維を發成するには効能薄し其の普通に纖維生産分に富む食料例へば肉類と併せ用ゆるは即ち此の理に由るものにて愛蘭及び獨逸の之を主食とする地方人

民が營業を缺くもの亦此に在り故に馬鈴薯のみを用ゆるは偏に失す馬鈴薯を分析するに水七割八分三厘、澱粉(即ち精力生産の原料)一割八分、窒素即ち(纖維生産の原料)一厘、鑛物(主として加里鹽)一分を占む世人或は馬鈴薯を不健康食料といふも學理上其の理あるを見ず惟々久しく貯蓄し又芽を吹かんとするものは食ふべからず此れ時としては中にソラニンといふ毒素を多量に含むことあればなり之が爲に中毒せるものは其の例少からずと。

●輸入鷄卵課税問題に就て　中濱醫學博士の談に淸國より輸入する鷄卵に課税するの法案が今期の議會に提出せられたるに就國民衞生の上より看て予は一言せざるを得ず今營養物としての牛乳並に鷄卵の成分を計量するに純良牛乳(時價五六錢)一合は蛋白六、三グラム脂肪六、五グラムを有し鷄卵一個(時價二錢五厘位)又蛋白六、二グラム脂肪六、〇を有すれば獨逸の如く牛乳一升を二三十錢にて購ひ得ざる我國に於ては牛乳を飲に代て鷄卵を用ゆれば實に半額の金員を以て同量の營養を身體に與ふを得ることを知らざるべからずされば予は更に廉價なる淸國鷄卵の輸入せらるゝを喜ぶの情深きが故に今ま其輸入鷄卵に課税して國民的營養物の價格を高からしむるは偶々以て一部商人をして利益を壟斷せしむるに止まり國民體質の爲めには大に憂へざるを得ざるなり輸入鷄卵課税の事たる到底識者の同意する所とならずその議會を通過せんと覺束なかるべきも之を國民體質の上より考え益々營養するの必要を感ずる今日に於て予は輸入鷄卵課税の事に反對の意見を抱くものなり云々。

●十ヶ年間の傳染病患者　其筋の調査に據れば府下に於ける近最十箇年間の諸傳染病患者表は左の如し。

年次	虎列剌	赤痢	痘瘡	發疹窒扶斯	實布垤里亞
廿五年	七一	一〇八	六、四三六	一九	四五三
廿六年	二九	一七七	二一〇	四	六二四
廿七年	二四	九一	三八六	一二	四三八
廿八年	三、四二四	一五二	三七	一一	八〇七
廿九年	三一八	一、三六三	二、五〇三	五	一、一五一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三十年	一一四	六、九二一	六、一六〇	三	二、三四五
卅一年	七五	二、五三三	二一	一	一、八一六
卅二年	二六	二、一七九	一〇	一	一、二八七
卅三年	七	九七九	八	三	一、四八六
卅四年	五	一、三九九	二七	｜	一、二二三

右の外猩紅熱患者三十年三十七人三十一年二十三人三十二年二十九人三十三年十五人三十四年十七人又虎列剌疑似症三十二年三十八人三十三年一人赤痢疑似症三十一年二百五十二人三十二年四百八十六人三十三年三百十六人三十四年百八十七人

●米國兒童の研究　兒童心理の研究者として有名なる米國ワシントンのマックドナルド博士はワシントン府の就學兒童二萬人の男女に就き研究したるに聰明の點は差なきも男兒は女兒より不活潑なるもの五分多し是れは女兒の早熟の爲めなるべきが米國の兒童は雜種兒より聰明なり又勞働せざるものゝ兒童は勞働者の兒童より聰明なる代りに神經質にして虛弱なり又懶惰なるものは女子よりも男子に多く御し難き男兒は女兒より多し然れども缺點ある女子は其缺點男子よりも頗る猛烈なるものなり云々。

●献身的のエンマ孃　牛類の結核菌は人のからだには傳染せぬと云ふ大醫コッホ博士の說に反對して遂に激論となり身命を賭して試驗せしことは兼て本誌の記せし處なるが今又米國のエンマ孃は此程同試驗のため牝牛の黴菌を頸部の兩側に一グラム半注射せしといふ其結果孃の若し肺結核にかゝりコッホ氏の說を打破したるときは酸素吸入療法を受くる筈なりと驚くへき勇婦ならずや。

●雪中行軍の大慘事　第二師團步兵第五聯隊山口大隊長以下二百十餘名は去る二十三日八甲田山麓田代に向て雪中行軍の途中大吹雪に遭ひ全隊殆んど凍死したる未曾有の大慘事は新聞紙上にて知悉せらるゝ處なるが青森地方にては積雪のため道に踏み迷ひ吹雪の甚だしきときは呼吸困難となり雪の乳の邊まで達したるときは匍匐するも容易に前進すること難く此場合には二丈餘の青竹を用ゐて大に便利を得たることありと又まんぢう笠をかぶるは呼吸を爲すに便利よしといふされども全身の疲勞と共に次第に空腹を感じ來るときは頻りに睡氣を催ほし左までの苦痛も覺へず遂にその儘凍死するものなり察するに去る二

十三日は東海岸にありし低氣壓は漸次北東方に進行し北西の風強く吹荒み寒氣いよ〳〵甚だしく近年になき寒さなるに道を踏み迷へ進退窮まりし其慘狀實に目もあてられぬ次第なりといふべし。

●死者と生者　去る十日の公報に據れば凍難者二百十名の內、發見、未發者左の如し。

發見したる生存者　十七名(內五名死亡)

發見したる死者　百八名(內姓名の知れたるもの百五名、知れざる者三名)

未だ搜索されざる者　七十五名

●本年の寒氣　本年の寒氣は近年になき現象にして信濃陸中北海道は氷點十五度以下に達し就中札幌根室地方は氷點下二十度を過ぎ上川の最低溫度は實に氷點下四十一度を示せり是迄同地測候所の觀測により本邦の最低溫度は明治三十三年二月上川に於て氷點下三十八度三を以て極限となしたりしと云へり兎に角本年は十數年來曾て見ざる寒氣なりしなり二月に入りては例年に比し著るしき差異なしとのことなれば是より寒氣も大に緩やかとなるべしといふ。

●女子と運動　今や女子運動の奬勵と共に漸やく實施の運に至らんとし戶外遊戲にはロンテニス、クリツケット及び手鞠羽子の如き其他薙刀躰操の如き弓術の如き又時に見受くる處なるが未だ馬術漕舟の技の如きは未だ聞かさるもの丶如し蓋し馬術漕舟の如き衣服等の充分改良せさるに於ては活潑の運動を爲し難きは無理ならぬが我國某將校の墺國にありし時其國の一將校に誘はれ釣に行きしことありしが當日は雨天なるに拘はらず其令閨令嬢は全力を盡して舟を漕き衣服の濡る丶を意とせず一里程を漕ぎ附け平然として此等の事は世間一般の事にして少しも珍らしからぬことことなりと婦人躰育の程度は霄壤の違ひなりと云ふべし令閨貴孃よ先づ衣服改良を斷行して隅田の舟遊びも又一興ならずや。

●白地の汚點を除く法　白き綿布、リンチル、麻布、絹物、毛織物等に酒又は果物の汁などにて汚點の出來たるときは其部分を先づ水に濕し次に厚き紙を漏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斗の形に巻き大いなる口の方を下になし小なる方を上になし下にて硫黃をもやし其亞硫酸瓦斯を導き汚點にあてるときはよく漂白することを得べし後之を水にて洗ふべし又白地の絹は亞硫酸の液を凡そ十倍の水に解して洗ふも又效あり夏帽子を色上げするにも先づよくシヤボンなどにてよく洗ひ次に稀き鹽酸にて洗ひ然る後前の如く亞硫酸瓦斯に觸れしむればよく漂白することを得るなり。

●水道敷設費の引下　府下水道事務局にては追々敷設者の增加するにつれ經濟上に刷新を行ひ本月より一般敷設費は從前の三分若くは四分方の引下げを爲せしといふ。

●精神病患者と音樂　音樂は精神病患者の心を靜め一時の慰安となることを得べきを以て治療上にも大に效あるべしと吳博士の創意にて東京音樂學校有志の人士に乞ひて去月十二日午前東京府巢鴨病院の講堂に於て演奏ありしが患者は不思議にも靜粛にしてしかも滿足を以て聽聞せりといふ成績大に宜しければ此後も時々演奏會を催すべしといふ。

●昨今の傳染病　先頃一時流行の兆ありたる實扶的利を始め其他の傳染病とも追々減少するに至りたれど尙ほ未だ全く其跡を絕つに至らず即ち昨今の同患者を聞くに駒込避病院には窒扶斯四十二名、赤痢五名實扶的利十二名計五十九名又傳染病研究所には實扶的利十二名窒扶斯三名入院し居れりと。

●痲疹流行性感冒の屆出　警視總監は去る二十八日廳令第九號を以て醫師が痲疹及び流行性感冒（インフルエンザ）患者を診斷し又は其死體を檢案したるときは今二月より一箇月分を取纏め病名、患者數、死亡數を翌月三日迄に所轄警察署巡查派出所詰又は巡查駐在所に屆出づべき旨發令したり。

●鵞口瘡・府下には又々ポツ／＼鵞口瘡流行せり牛乳飲用者の御注意罹患初發より本月中旬迄に二百餘頭尙ポツ／＼發生の模樣なり。

家庭訓

●家内主婦の心得

凡そ一家を總括せらるゝ御婦人と云ふものは實に一家内に於ては最も勢力のあるもので、單に御自分の病氣許りでない其お子さん御良人等が御病氣であッた時、之を看病するのは婦人の役、從つて其病氣を治療する方法に於ても、實に婦人方が大變に勢力の有るもので御座います、一寸假令て見ますると、貴き人或は學問の有る人には無いけれども、下々に至ッては、病氣等のことに關しては男の方よりは婦人の考への方が餘計であります。子供の病氣、亭主の病氣に當て。若し其家の妻君が西洋醫師を好む人で有ッたなら、必らず西洋醫師の藥を飲せて、療治するに違ひない。併しながら若し其婦人が漢方の醫師が好きてあッたなら必らず其病人は漢方醫に掛ッて、煎藥杯を飲み其病氣を治療する。又其婦人が醫師が嫌ひて、神佛を信仰し、何事に依らず神佛に祈願する人であッたならば、先づ醫師に懸けるよりは、神樣に願ひ、佛樣に祈禱する方が好いと云ふ考へを第一に起し、醫師は貴いものであるけれども、其人の眼には、神佛の方が効驗が有る樣に思ふて、先第一に神佛に祈願を致します、又妻君が賣藥好きであッたなら、前に立派な醫師が有ッても、便通が無いから通丸を買て飲せ抔して、それてどうしても癒らない時に、始めて醫者に懸ける者が世間には往往有ります、其外鍼術者、灸點者とか云ふは皆な病氣を癒そふとする營業者て御座いますが若し之等を好む婦人てあれば、鍼は結構て有る、灸點は結構てあると云ふ考へを以て、醫師に掛ける前に先づ素人了簡て之を試み、それて往けなかッた時に初めて醫師に掛ける、乃ち醫師が見離す樣に惡くなッた後に、醫師に診せる樣なものが隨分あります、必ずさうと

は云へませんが、

●主婦の勢力

世の中には女の勢力の強い爲めに、醫師にかける事をせず、神佛或は賣藥祈禱鍼術灸點とか云ふ樣な事を先づ前にして、愈々危急に迫ッてから始めて醫師に診せる人が澤山あります。併し斯くの如き事は、良い事か惡い事かと云ふ事を考へて居ッたなら、後に悔悟する樣な事は無からうと思ひます。それじやからして一家内の病人の有ッた時に、家政を司る所の婦人の思想は斯くの如く勢力のあるもので御座いますから、其婦人の思想が理屈に叶ッて居ッて病人等を扱ふのに一ッも傍から叱言を云ふに及ばぬ位ゐの考へであッたならば、其家の倖は大きいもので御座います、其細君の支配に從ッて往く所の家の中の幸福と云ふものは、實に夥しいけれども一歩間違ッて、其細君の思想が非常に理屈に違ッて居ッて、醫者或は識者が見て尤も惡い思想を以て、其一家内を支配して往ッたならば、實に其不幸と云ふものは云ふ事の出來ぬ位ゐ大きいものであります。何故なれば其細君が間違ッた所の思想を以て、夫の病氣子供の病氣等を處置しますから、死なゝいでもよい夫が死に、子供が死ぬと云ふ不幸に陷る事が有るかも知れません、偖此本會の會員等は素より衞生に熱心なるお方々でありまするから從ッて其家内は、衞生衞生と云ふ事が主になッて居り、又醫師の申す事も、充分御心得になッて居られますから、其一家内は尤も長壽をせらるゝ樣な結果に爲る事は、萬々信じて疑ひません。又斯くの如き方には惡い事も有りませんから、別段お噺しをするにも及ばないと思ひますけれども、盲目千人の世の中で、世間の人が皆な衞生會員の樣に理屈の解ッた方許りならば、決して衞生談抔をするには及ばないが、譯の解らないものが多いので御座いますから疾くに皆さんは御承知で御座いませうが之れをお聞きになりて世間の解からないかんがへを持て居る人を、善い方に導いて下されん事を希望致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●素人療治

凡そ病氣と云ふものに、決して一通りのもので無い、其數は昔しは四百四病と云ふたけれども、今日は中々四百や五百ではない數十もある。其數千もある病氣は、毎日々々一ツの形で有るかと云へば、決して同じものでは無い、病氣と云ふものは、始終變じて居る、一寸感冒いても或は大變好い時もあるし又大變惡るい事もある時々刻々に依ッて、大變病氣の容躰が違ひまする故療治するにも一通りの方では往かない、種々の方法に依ッて療治しなければならぬ。それゆへ醫師もごく上手な人は、藥を造る許りを決して尊ぶのではない、醫者と云ふものは克く該病を診て、其病氣の模樣から今は一番何處が苦しいかと云ふ事を、細かに順々に診てそして藥を飮ませる、それゆへ醫師の方では診斷を大切にして置くので有る、診斷を付けた上藥を造るのを醫師の務とする。是は世界中、何國でもそうですが、診斷と云ふ事を確かにして、そして後ち適當の藥を與へ或は法を施すもので有ります。さう云ふ譯であるからして「醫者に診て貰ふのは決して必要で無い、藥さへ飮めば良い」と云ふ事を、世の中の人は思ふて居りますが、藥を飮む前にからだの中のどこが惡るいかと云ふ事を確めた上で、飮まなければ好いと思ッて飮んだものが、却て害を爲すやうな事が有りまするから、克く氣を附けなければならぬ、然るに此日本に尤も多い所の民間の療治法は、如何なる事で有るかと云ふに、大躰から見ると皆な此原則に違ふたるもの許りであります。

●民間治療法の勢力

そこで民間治療法で勢力を得て居るのはどんなことで有るかと云ふに、先づ神樣と佛樣です、是は立派な人には左程ありませんが、下等の人は宗教に熱心する餘り、色々の妄想を懷いて、病氣と言へば醫師や藥よりは先づ第一に神樣か佛樣に祈禱して、そして其祈禱に依て病氣を癒さうと云ふのが下等社會に勢力を得て居る樣です。隨分例が有る事ですが、眼

が悪いと、藥師樣に願を掛けて、藥師樣の前に在る手洗ひの穢い塵芥だらけの水を眼に付けて敢て他を顧みず自分から眼の潰ぶれるのを待ッて居るものがありそれから又お產をするのでも、直ぐに鬼子母神さんにお願をかけるがお產が重いか輕いかと云ふ事は、產科の醫師に聞いて見れば直ぐ解かる、どんなに鬼子母神に願を掛けても重いものは重いに逆ひない、それに反して當り前の人間の躰格を持て居ッて胎兒の位置も宜かッたなら、鬼子母神さんもなんにも入らない其お產の輕いとは始めから定まッて居る事て有る、それだのに世には鬼子母神樣に願を掛けさへすれば、胎兒の位置が横て有らうが、轉倒て有らうが、一向頓着しない人が幾らもあります。或は病人が將に死なんとする時に臨んで、一も藥を與へず、黑住樣に供へた水を飲ませる、それも奇麗な水ならまだ宜いが、塵芥だらけの不潔い水を持て來て飲ませ、又甚だしきに至ては、本願寺邊かの坊主樣の湯浴した御湯を汲んで來て飲ませる、實に宗敎に熱心なるものには意外なる事が大變に有ります。併しながら私は宗敎を嫌ふと云ふ譯ではない、宗敎は社會に大變必要なるものである、道德上に社會上に共に利益の有るもので、神樣や佛樣を信ずるのは實によい事であるが、餘り迷信し過ぎて、是を病氣にまで及ぼすのは善くない、又神樣も佛樣も之が本意ではなからうと思ひます。又本願寺の僧侶さんが自分の沐浴した湯を飲めと云ふのではない、世間の解からぬ人が必らず宜いだらうと思うて飲むのである、藥師樣とても穢い水で眼を洗へと命令した譯ては無いが、人が解らぬ故に其穢い水を眼に附けるのて有ります、黑住樣のお水も同樣で有ります實に神佛を信ぜねばならぬもので有りますが、それを濫用すると利益無くして却て害になります、なぜかと云ふに只今申したのは一二の例て御座いますが、それ等の汚穢ない水を分析して見ると其中には空氣中にあるバクテリーと云ふ虫が大變這入ッて居る。其虫と言ひ塵芥と言ひ、人間のからだに這入ッたなら大

變に惡い、今の世の中に昔と違ッて眼病抔は別して宜く洗はなくてはならぬと云ふ位ゐて有るのに、自分から好んで塵を眼の中に入れる。角を矯して牛を殺すと云ふは此事で有る。さう云ふ風に神佛に備へたる水を汲み立てた物ならまだ宜いが、浴湯みをしたり或は芥塵の這入ッたものを、態々取ッて來て飲むと云ふは、其害は甚だしいものである、其上に神佛に托して肝心の治療の遲れると云ふ害がある、神樣や佛樣が無かッたならば、直ぐ醫師に掛りませうが、神佛に托した爲め療治が遲れる塲合が澤山あります。

●治療手遲れ

治療の遲れたのは、病人自身に取ッては大變不幸せであるし又斯う云ふやうな大病人をも、神樣や佛樣に祈願して醫師に掛けないと云ふ樣な婦人に治められたる一家内の不幸は實に大きなものであらうと思ひます、昔の人は痘瘡神樣だとか云つて、赤い物をかけて見たり、願を掛けたり色々な眞似をやりますがどんなに祈願しても痘瘡をするものは痘瘡し、命を落すものは落します、けれども英國の醫師のゼンネルと云ふ人が種痘を發見してよりは、皆一樣に種痘で濟むやうになりましたから、此點に關しては神樣の力よりは醫師の力の方が遙かに勝て大なる事は明かであります。併し私は斯う云ふたからとて、神佛を信じては惡いとは決して言はないが、先づ餅屋は餅屋だから適當の醫師に掛けて、治療をするのを先きにし、然る後ち神樣なり佛樣なりに祈願したならば、只今申した樣な不幸に遭遇する事は無からうと存じますから、此言を世の迷信者に忠告しやうと思ひます。

●灸點と鍼按摩

其次に只今申したよりは少しは好いが、同じ樣な民間の治療法が有る。それは何かと云ふに灸點とか鍼術だとか云ふ事で有る併し灸抔は私共でも現在灸を据える事もあり、或は鍼按摩等も時に依ッて、病人に勸める事もありますけれども、世の中の人達は頭

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

痛がするから灸腹が痛むから鍼と云ふやうに、無暗に施すのは大變に害が有らうと思ふ。何故害が有るかと申しますれば、是も矢張り神や佛と同じて、世の中に灸點とか鍼術とか云ふものが無かッたから苦しまぎれに藥を請求するけれども、斯う云ふ事が有ると、鍼を頼み按摩に揉ませ「それ脚氣が起ッたから灸點をする」と云ふ樣に何の病氣か分らないのに自分で自分の病氣を診斷して、民間治療を扱ッて居る人に施して貰うから實際脚氣でも無いものを脚氣として、すゑんでも宜い處に灸をすゑ、さゝいでもよい所にでをするものが世の中に多いやうて御座いますが、さう云ふ事をしては、其弊害と云ふものは實に名狀すべからざるものである。併し私は灸點者鍼術者も世の中の營業者て、是に依て生活して居る者であるから、決して彼等を誹謗するのではないが實に是が爲めに受ける弊害が來るのも、矢張り角を矯めて牛を殺すと同じ樣な結果が有ります。それはどんな事かと云ふに、外科醫師が鍼をさすには、其鍼に毒が附いて居ては大變に危險だから、鍼をさす前には必らず强い石炭酸に入れて、鍼を消毒してさすけれども、世の中の鍼術者はどうで有りませうか消毒をしない位なとまだ宜いが、さす前に汚れたる指でさすッたりして、消毒等の事は少しも顧みない若しさう云ふ風に鍼をさしまして、其鍼に虫が付いて居りましたら、不潔物をからだの中に殖やすと同じやうな結果を生ずる此間も或人が腹に鍼をさした爲め腹膜炎と云ふ焮衝を起し、殆ど一命を落さうと云ふ危險に陷ッた。又一人は小便袋(膀胱)に鍼を打ッたので、小便の中に膿が大變出て、とう〳〵危き位地に立至ッたのを見ましたが、是等は鍼を打たなければ、斯かる事はなかッたのですが、全く穢ない物の附いた鍼をさした爲めです、

(次號へ續く)

●醫術開業試驗の志願者　本年第一期醫術開業試驗の志願者は總數三千四十九人にして後期千百四十五人（内女十八人）前期千五百〇三人（内女二十三人）齒科百七十六人（内女二人）實地二百廿五人なり而して前回に比して凡そ二百人の多數なり、



内外實用料理

本欄の講師本月は家内に病人ありし故を以て原稿間に合はざりしは遺憾なり左に二三の普通調理法を物しぬ

●大鳥の調理法

銃獵の季節なれば大鳥の調理法を掲ぐべし鳫、鴨又はカシワ、アヒル、など何れも先づ毛をひき毛燒きすることは小鳥に同じ又鳥によりて毛の儘皮をさる事もあり料理するにはこれも胸骨の所より庖丁をさしこみ骨際の所をすきとる様にし腹の下迄開き腸を出すべし大鳥は骨のまゝ用ひ難きものなれば細に骨をすきとりて後好の大きさに切りてよし但西洋料理などには大鳥も骨のまゝ用ひることあるなり。毛をひくには盥に水を入れ其上にてすべしかくするときは毛のちることなきものなり又毛は反にひくをよしとす。

毛燒とは毛をひきたる鳥に猶細かき毛の殘りたるを藁など焚きて其火先にてこれを燒くを云ふ但し火にあぶる如くすれば肉の味ひ惡くするなり心用ひること大切なり。

骨及び腸などはよく洗ひ鍋に水を入れ其中へ入れて煮つめスープに仕置くべし。

又前の如く骨など洗ひ（大なる骨は省き）腸と共によく〳〵たゝきたるをよき程に丸めこれに雞卵とうどん粉をぬりつけ油にて揚げ吸物の中へ加へ或は煮物に用ふるも可なり平常の菜によきものなり又油にて揚げず其儘煮出して醤油味淋などにて煮揚げあしらいには何にゝても野菜を用ひるもよし豆腐をあしらふもよろし但し腸の中に用ひがたき物もあればよ

く見分けて取り捨つべきことにこそ。

●カツレツ

鶏肉にても牛肉にても凡そ二寸計り厚さ三分程の平ら切にし其兩面へ食鹽をふりまた米利堅粉をつけて新聞紙の上によくおさへ鶏卵を割りてよくかきたて肉にぬりつけ其上へ又パン粉をつけて牛油にてあげてよし。

あしらひは馬鈴薯の食鹽煮してつぶしたる抔用ゐるもよろし。

質疑欄

問、授乳を止める適當の時期と其後の食物御敎示をこふ。

新潟　一會員

本會　審事員

答、授乳を止めるの時期は國々によりていろ〳〵でありますが今文明國にて衛生の行き屆き居る處で醫師より充分の注意を與へて實行されて居る部分が歐羅巴に於ては大概十一ヶ月前後と御承知になッて誤りはありません實際マダ日本では十一ヶ月では中々母乳を止めるといふことは困難なるも牛乳と交へて與へ居る方などは十一ヶ月若くは十二ヶ月で止めることの實行の出來ぬことはありますまい併し此際は腸胃を害し易き時代故よく時期を見はからひ假令へ少し遅れても最も腸胃の丈夫なる時を利用しなければなりません故に夏季六七月より九月頃までは物の腐敗し易き時代ゆへ乳を離すことはよろしくありません。

さて授乳を止めてからの食物はといふに牛乳より徐々にはじめチストル氏の小兒粉(スイツル製)ビスケツトの樣な味ひのものですが之を凡そ珈琲の杓子に一杯を十杯のお湯に溶かし用ひたりソツプ、鶏卵等は第一に賞用すべく其他すべて柔き物を用ひ夫より

前の上下四枚の歯が出て臼歯が出て來ましたならば肉類其他追々御注意になつて與へてよろしいのでありります麥めし、茄子のヘタ、大根、麥の皮、漬け物等はよく注意しませんと小兒には中々消化しません是等は消化せずに其儘排出したる實例は澤山あります。

●質問の注意　質問は病氣容躰の如き診察せざれば應答し難きものは御斷り申候回答の紙上登載の遲速は講師に都合有之候間豫め御承知あれ
又質問に姓名を出すことを好まざる方は匿名にても差支なし但質問用紙は罫紙若くは半紙に特に其事のみを認むること。

大日本婦人衞生會記事

●本會二月例會

二月一日午後一時より例により麴町區虎の門内なる東京女學館講堂に開く當日は豫期の如く三宅博士の家庭看護法開始の筈なりしが俄かに病氣の爲め欠席せられたり依りて産科婦人科專門水原漸君には婦人病に關し産褥熱其他の疾病に就き醫療器械及簡易消毒蒸氣器械等を示し懇ろに講述せられたり當日幹事鳩山夫人には歸朝後始めて出席せられしかばソが漫遊談を聞かまほしと役員のすゝめにより外國の事情を演説せられたり（本誌參照）右終り四時稍々過ぐる頃散會せしが終日雨天なりしかば會するもの少かりしが特別贊成員横井忠國氏も高崎より上京中の故を以て參會せられたり役員には濱尾副會長鳩山、高木、羽田、三浦、穗積、石川、松前子爵夫人等なりき。

新年福引費中へ三氏より左の通り寄附せらる

（いろは順）

金壹圓　濱田捨子
金壹圓　緒方悦子
金壹圓　中濱芳子

●陸軍一等軍醫横井忠國氏は本會特別贊成員たることを承諾せられ別項の如く多數の會員を誘導せられたり。

●産科婦人科專門水原漸君には本會の特別賛成員となられたり。

●新潟支會講師

此度左の三氏は新潟支會の講師たることを承諾せられたり。

新潟眼科院長　ドクトル　小林忍君
新潟病院耳鼻專門　黒岩福三郎君
新潟師範學校理科敎授　各務芳一君

●東京及京都帝國大學圖書館長より左の通り本會宛謝狀到達せり。

左記の書籍本學へ御寄附相成正に領收御厚意深謝致候即本學附屬圖書館に於て永く之を保存し參考に供すへく候敬具

明治三十四年十二月廿七日
東京帝國大學總長理學博士　山川健次郎印

一婦人衞生雜誌　二部　拾貳册

本會宛

拜啓
婦人衞生雜誌第百四十四號
右御寄贈に相成正に領收御厚意深謝の至に候尙今後引續每號御寄贈の榮に預り度此段特に及御依賴候敬具

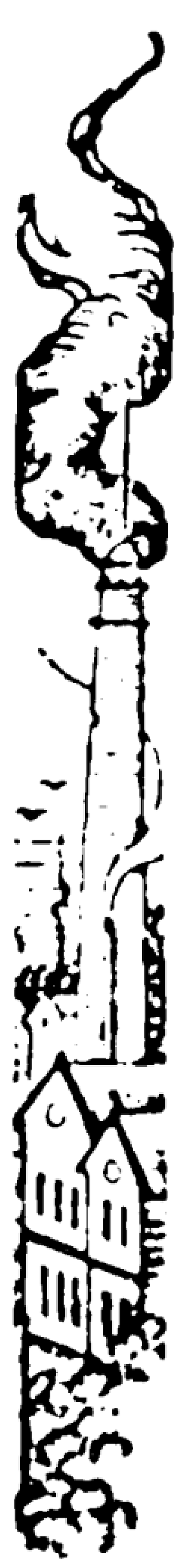
明治卅四年十二月十九日
京都帝國大學圖書館長　島文次郎印

本會宛

●宇都宮支會報告

●一月例會狀況

去月二十一日正午十二時より當市旭日館に於て三十五年度第一回例會を開く會長、副會長、幹事、評議員等の役員は勿論他會員も四十名以上の出席あり客員としては淺田、吉永、中里、渡、長野等の諸講師及縣立病院藥局長匂坂氏臨席せらる定刻に至るや淺田氏會長に代りて開會の辭を述べ尋いで匂坂氏を紹介す匂坂氏は化學的實驗を行ひ且つ一々之れが說明を與へらる氏の講演終るや新年會の事とて他講話を略し蓄音機、福引、骨牌、羽子等の餘興に移り各自歡を盡し午後正四時散會す此日講部會長より支會へ金五圓を寄附せらる。



●本會入會者

○事務所申込

●本部第一院内　通常會員　伊藤みち子
●京橋區西紺屋町八番地　通常會員　山田とら子

●讃岐國高松市北龜井町新井戸　贊成員　柏原義雄君
●臺灣澎湖島醫院內　通常會員　山內芳子
●山梨縣北巨摩郡若神子村穴平　通常會員　坂本伊勢子
●越中國下新川郡泊町松吉方　通常會員　松田よし子
●陸奥國西津輕郡鰺澤七ッ町　贊成員　藤田良策君
●島根縣邑知郡川本町　通常會員　寺本美代子
●山口縣厚狹郡舟木德基高等女學校　通常會員　岡その子
●上野國高崎市宮本町九十三番地　特別贊成員　横井忠國君
●神田駿河臺西紅梅町佐々木病院內　通常會員　光田松尾子
●上野國高崎市龍見町　通常會員　根本てつ子

○伊勢　山田隈子紹介

●伊勢國三重郡羽津村森病院內　通常會員　牧村淸子

○山梨　小尾志ら子紹介

●山梨郡北巨摩郡甘利村二百八十二番地　通常會員　井宮守子

○特別贊成員　和田義質君紹介

●府下南多摩郡八王子町横山三十三番地　通常會員　吉田ぎん子
●仝郡仝町本町十八番地　通常會員　北村喜代子
●仝郡仝町八日町六十四番地　通常會員　中村志げ子
●仝郡仝町八日町廿九番地　贊成員　黒沼撤之助君
●仝郡仝町大横七十二番地　通常會員　宮崎あさ子
●仝郡仝町馬乘十八番地　通常會員　關山そよ子
●仝郡仝町大横三番地　通常會員　田野倉こと子
●仝郡仝町八日町九番地　通常會員　秋山はな子
●仝郡仝町横山六十四番地　贊成員　川村寅吉君
●仝郡仝町八日町五十八番地　通常會員　鳥村登次子
●仝郡仝町馬乘三十三番地　通常會員　江原とみ子
●仝郡仝町上野五番地　通常會員　小島ゆき子
●仝郡仝町馬乘三十二番地　贊成員　淺海春吉君
●仝郡仝町上野六番地　通常會員　飯島多代子
●仝郡仝町本町十九番地　通常會員　內田やす子
●仝郡仝町本町七番地　通常會員　坂本やゑ子
●仝郡仝町本町十六番地　通常會員　鈴木みね子
●仝郡仝町八日町三丁目　贊成員　內田源兵衛君
●仝郡仝町本目廿三番地　通常會員　高橋ゑつ子
●仝郡仝町大横五十四番地　贊成員　鈴木萬吉君
●仝郡仝町小門五十三番地　贊成員　木住野林太郎君
●仝郡仝町八日町十三番地　贊成員　荒川夏太君
●仝郡仝町本町五十七番地　通常會員　松波すゑ子
●仝郡仝町八幡八十七番地　通常會員　荻島まき子
●仝郡仝町八日町三十二番地　贊成員　佐宗太郎君

○贊成員　加藤照麿君紹介

●神田區猿樂町十二産科婦人科專門　特別贊成員　水原漸君

●神田猿樂町十二番地　通常會員　水原はる子

○下谷　横堀乙二子紹介

●荏原郡目黑村西郷侯爵邸　通常會員　原山いつ子
●麴町區上二番町九高等裁縫學院　通常會員　渡邊あさ子
●仝　所　通常會員　野村幽子
●仝　所　通常會員　秋山都子
●仝　所　通常會員　井野てる子

○役員　石川さだ子紹介

●神田區南甲賀町八番地　通常會員　增岡敬子

○高崎　特別賛成員横井忠國君紹介

●高崎市赤坂町官宅　通常會員　井ノ口德子
●仝市柳川町百四十五番地　通常會員　莊司駒子
●仝市宮元郡九十四番地　通常會員　稻垣壽々子
●仝市寄合町五十番地　通常會員　土谷ひやく子
●仝市赤坂町官宅　通常會員　栗野まる子
●仝市縣立高等女學校　通常會員　田邊東子
●仝　所　進常會員　宮田たか子
●仝市柳川町百五十五番地　通常會員　今井ぶん子
●仝市柳川町百六十五番地　通常會員　戸枝梅子
●仝市柳川町百九番地　通常會員　馬渡なか子
●仝市柳川町百三十九番地　通常會員　本多美佐子

○高崎　星野きよ子紹介

●仝市本町三丁目五十七番地　通常會員　藤巻田鶴子
●仝市歌川町十六番地　通常會員　清水かね子
●仝市本町三丁目九十六番地　通常會員　福田愛子
●仝市田町一丁目七十四番地　通常會員　筒井くら子
●仝市堰代町四十九番地　通常會員　清水喜代子
●仝市柳川町十三番地　通常會員　高橋やす子
●仝市宮元町百二十五番地　通常會員　大澤ふく子
●仝市龍見町百十六番地　通常會員　宮岡むめ子

○高崎　土屋ひやく子紹介

●仝市柳川町五十四番地　通常會員　深町なみ子
●仝市寄合町二十七番地　通常會員　塚越まつ子
●仝市連雀町十五番地　通常會員　淺野あき子

○下谷　小林まつ子紹介

本郷區追分町三十番地　通常會員　原あい子

○神田　柳川こま子紹介

●淺草區諏訪町廿八番地石川富五郎氏方　通常會員　西垣宇野子
●神田猿樂町一、西尾むら子方　通常會員　西尾雄子
●神田錦町一ノ六、柳川こま子方　通常會員　山崎くめ子
●神田美土代町二丁目一番地　通常會員　藤岡ちか子
●神田區錦町一ノ一、高比良新藏氏方　通常會員　松田せき子

○横濱　田原富美子紹介
●日本橋區堀留町十三番地　特別會員　日比谷もと子

○麻野　駿子紹介
●赤坂區新町三丁目十八番地　通常會員　山崎志ん子
●仝　所　通常會員　森永とく子

●宇都宮支會入會者

○支會事務所申込
●宇都宮市小幡町二番地　通常會員　角田ちい子
●栃木縣芳賀郡南高根澤村　通常會員　齋藤ゑん子
●仝縣仝郡永橋村字水沼　通常會員　大島志ん子
●仝縣仝郡祖母井村字下延生　通常會員　豊田とう子

○仝支會　福井よし子紹介
●宇都宮市元石町八番地　通常會員　清宮わき子

●新潟支會入會者

○幹事　稻津志ん子紹介
●新潟市旭町　通常會員　山崎ふさ子

○幹事　梅木志づ子紹介
●新潟市上旭町　通常會員　丹羽きん子
●仝　所　通常會員　佐々木かめ子
●仝下旭町　通常會員　笠原すゑ子

○評議員　小布施すみ子紹介
●仝市古町　通常會員　大港いし子

●本會入會者

○本郷　關野小枝子紹介
●本郷區駒込丸山新町廿一番地　通常會員　保岡愛子

○本郷　堤かく子紹介
●本郷區第一醫院　通常會員　保坂はま子
●仝　所　通常會員　安松ちやう子

○本郷　大石こう子紹介
●本郷第一醫院　通常會員　櫻井小むら子

○淺草　青木すゞ子紹介
●淺草區南元町十七番地　通常會員　植田ふさ子

○澁谷　池上なほ子紹介
●本郷區西片町十ろ三號　通常會員　稻垣しず子

○麹町　武富すみ子紹介
●麻布區霞町一番地　通常會員　島内幾千代子

○山口　橋本梅子紹介
●山口縣周防都濃郡德山病院内　贊成員　楢崎一雄君

○事務申込
●沖繩縣那覇泉崎十一番地國吉方　通常會員　市來いく子

○本會　濱尾副會長紹介
●小石川區大六天町七十番地　特別會員　伊澤千世子

●下谷區車坂町三十一番地　特別會員　瀬川さわ子

●會員種類變更

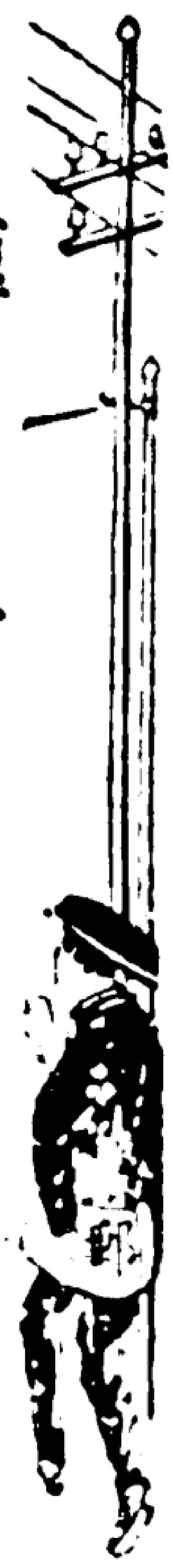
●麹町　通特別會員　終身會員　眞野たか子
●仝　普通會員　特別會員　三橋菊尾子

●住所不明會員（御承知の御方は御一報願上候）

元の番地

芝佐久間町　渡邊松子　麹町永田町　沖田愛子
下谷七軒町　中村志げ子　仝飯田町六　伊藤喜美榮子
牛込加賀町　上野延子　徳島　永田とよ子
牛込山伏町　依田いよ子　山梨　河野久和榮子
仝上　林静子　仝甲府　飯田しげる子
京橋彌左衛門町　丸山てい子　仝　大庭こう子
仝木挽町　矢内つた子　仝　内田だん子
神田淡路町　大橋小榮子　仝　川口そう子
仝袋町　三澤さわじ子　仝　遠藤菊代子
仝表神保町入　堀口ひな子　仝　雨宮雪江子
神田濱田病院　横川喜代子

（以下次號）



轉居

△會員諸氏御轉居之際は乍御手數事務所宛必ず御一報相願候

●栃木縣足利町足利幼稚園内へ　関すが子
●長崎市淵巷飽ノ浦へ　池田讓子
●鎌倉材木座進藤亭へ　江頭米子
●鹿兒島山下町四九四へ　川添香代子
●肥前國佐世保榮町四十八番地へ　中村英根子
●信州東筑摩郡松本町二六七番地へ　岡村まつ子
●京都府紀伊郡深草村榎本橋町十一へ　氷室長子
●京橋區南鍛冶町三、四岡正氏方へ　平野とし子
●台北府後街民政部官舍よ號　宮本定子
●府下日暮里村元金杉二百五十五番地　富田たま子
●豊多摩郡中澁谷停車場向南角へ　多々良と代子
●甲府市若松町へ　村松さく子
●本郷區灘町廿一、中村芳子方へ　小出梢子
●台灣台北府後街民政部官舍な號八室へ　小出歌子
●仝上後街六丁目わ號へ　田口みつ子
●小石川金富町五十七番地へ　淺井ひで子
●小石川區原町百三十三番地へ　宮崎より子
●小石川區表町五十二番地へ　畑かた子
●麹町區富士見町五丁目九番地へ　加茂登英子
●四谷區大番町四番地へ　渡邊まつ子
●麻布區材木町十番地へ　菜谷保子
●本所區若宮町十一番地へ　吉田こう子
●本郷區向ヶ岡彌生町三、ほノ二號へ　本間よし子
●本所區向島寺島村公木園へ　米本つる子
●神田錦町三丁目三番地へ　石川たき子

ドクトル 佐伯理一郎君纂著（總ふりかな附）

増訂七版 普通看病學

本書第七版に於てはビルロート氏最近の原著看病書に依り補訂する尠からず加之新に繃帶、●●調理の二篇を設け簡潔たる文字を以て其要を説き、傳染病篇亦改訂を行ひ、圖畫を増す百有餘、紙數を増す百餘頁

全一冊　挿圖百五十九個　正價金六十八錢　郵稅金十錢

下平文柳君纂著（總ふりかな附）

私宅看病法

是れ著者が我邦の現狀に適應せしめんか爲に著はせるものにして歐西の學理を本邦の實狀に應用し殊に私宅看病時に於ける特殊の注意を述ぶるや細を指し微を摘み字々句々皆言ふ可く行ふ可きものを羅列したり

全一冊　挿圖三十個　正價金五十錢　郵稅金六錢

下平文柳君纂述（總ふりかな附）（訂正第五版）

看病法修業用 人體の解剖及生理

全一冊　挿圖六十一個　正價金三十五錢　郵稅金四錢

發行所　東京市本郷區龍岡町　電話本局一六七二番　吐鳳堂書店

會員募集

產婆學雜誌

○毎月一回五日發行
○會員には無代價配布
○會費一ヶ年金一圓

何故に本紙を發行したるかと云ふことは、本誌紙上に掲けたる本會設立の趣旨書を讀み知らてるべく、尙同卷末に掲げたる本會々則をも一覽せらるべし。一昨年七月產婆規則の勅令出で、同年九月内務大臣、產婆試驗規則及產婆名簿登錄規則を制定して玆に產婆の地位一入高まり、斯道を研究發達せしむる必要の更に切なるを感じぬ。現に產婆の業に從事して此日進の學問に、遅れざらんことを希へる諸姉、將來此學業を修めて世に立たんと志せる諸姉、妊婦、產婦、褥婦の病を介補せらるゝ看護婦諸姉を始めとし、一方に於ては病者の治療に從事せらるゝと同時に一方に於ては產婆及看護婦を學問上及實地上に指導せらるべき醫士諸君は云ふを待たす、苟も一家の主婦となりて其健康を增進し、安らかに分娩を了へ、健かなる世繼をまうけて、家門の繁榮を望まるゝ貴夫人令孃、さては家庭の衛生を重んじらるゝ紳士諸君に至るまで猶ひて此界に與せらるへきことを信じて疑はず、わらず、是等の諸君は此界を耳にせられなば、必ず同志を促して加入せしめたまふなるべし。御住所姓名を明記したまひ事務所に申込まれなば雜誌は逐號發送することを怠らざるべし。更に希望すべきは會員諸姉諸君の、分娩時及其前後并に婦人の衛生、嬰兒の保育等に就て、其見聞せられたるところを報道せられたきことなり。病婦の症狀、及其原因、并に療法、妊婦の攝生、嬰兒の取扱、乳母の撰擇等に關する質問、提議、經驗談、何れも之を歡迎せん、其報道につきては意味だに明かならば文の良否、文體の撰擇など諸君か心のまゝなり、唯範圍外に涉れる言論、人の私行を許ける人身攻擊等を忌むのみ、更に希望するは毎月一回の例會、毎春一回の總會には、缺くることなく出席したまひ、其抱持したまへるところの高說をもらしたまはんことなり。

東京日本橋區濱町三丁目七番地
產科婦人科楠田病院内

日本產婆學協會事務所

● 空氣の乾濕を適度に調整し（衞生上有益の
● 炭酸瓦斯の發生を防止せる（防寒用具也

日本室用
木炭焚
暖爐

（烟突不要）



此器の室内全體を平均に快く温暖に成し温度の上昇自在にして他の暖爐に於て免れ難き夫の燃燒より起る炭酸瓦斯の害を除き空氣の乾濕を適度に調整し火氣等にのほせる憂無く衞生上有益なる構造にて煙突を要せず安全經濟に持運び自在に形狀優美堅固にて實用裝飾完備す

（有益の證）宮城縣病院日本赤十字社東京美術學校。東京山病院外數所よりは御試驗の上數個乃至拾數個づつ御用受。足立軍醫馬島醫學士田代醫學士吉松醫學士并に川上ドクトル。田中醫學士神吉醫學士方以下醫學者の御賞用を受け永樂病院以下各縣立私立病院醫師方より已に一万餘個御用受御試用後重て數個御賞用方多く受好評候。

（名）木器は政貴の御方京都にて御不例の節主治醫方より御勸め申上御用の御付有益の證文御賞遊ばされ其後東京御本邸へ五個御備置の榮を賜り其他文部省外務省宮内省大學大帝院一條公二條公九條公爵司公島津公德川公全著公大山侯爵蜂須賀侯以下（與）七十餘條か方佐久間中將大迫中將寺内中將大山將以下軍人官衞學校其他か合せて已に一万千餘個御用受好評候

正價五圓五拾錢 荷造費七十五錢

東京市麴町區隼町二十番地

山本賣店

● 乘車用 椅子用 暖爐

木器ハ戰寒中乘車ノ際又ハ椅子ニ倚リタル際能ク脚部ノ冷ユルヲ防キ形狀優美ニシテ斬新ナル保温ノ構造也殊ニ醫家病診ノ際ニハ頗ル便益也毎日炭團一個ニテ足ル正價一圓五十錢

竹中成憲先生著書

赤痢病學
正價壹圓 四百頁以上 郵稅八錢

通俗肺癆防養生法
正價四十錢 郵稅四錢

右は肺癆原因、徴候、療法等を極めて通俗的に術べたる者にして其主眼とする所は攝生法を明にし此恐るべき疾病を未發に防ぎ發したるものは之を治することを詳論せるものなり

最新學說 日本小內科學
木綴美本正價貳圓 一千餘頁郵稅十六錢

簡易産婆學
郵稅共四十錢

東京市本鄉區春木町二丁目廿二番地
半田屋醫書店

看護婦産婆廣く派出の御求に應ず

麴町區飯田町一丁目八番地
九段看護婦會
船曳みき

私立大日本婦人衛生會茨城支會規則

第一條　開設の趣旨及目的

凡人生の幸福を保持するには完全なる教育を望まざる可からず之を望まんとするには必や衛生と相竢ちて而る後ち始めて全き事を得るならん。されば吾人は現今東京に於ける該本部に隷して更に茨城支會を開設し吾人が日常實行する衛生上の事項をして益研究し益改善を圖りてその發達を互に努め力めんとするに在る而已。

第二條　名稱

本會は私立大日本婦人衛生會茨城支會として之を當水戸市に置く。

第三條　會員

本支會々員たることを望む婦人は何人にても入會することを得。

第四條　入會手續

入會の節は氏名族籍住所等を明記し本支會事務所に申込むものとす。

但し會員證は東京本部へ通知し然るのち之を交附すと云へとも徴收代は限め前納せらるへし

第五條　會員種類

會員を分ちて特別。通常。終身の三種とす

(い)終身會員は一時に金拾圓以上

(ろ)特別會員は一ヶ月金二拾錢以上

(は)通常會員は一ヶ月金拾錢を納むること

第六條　男子にして本支會の趣旨を贊成する者は之を贊成員とす其の會費は本支會に全く但し本支會に功勞ある者又は本支會に於て贊成員たることを望みたる所は役員の協議に依り無會費とすることあるへし

第七條　本支會員は本部にて毎月發刊する雜誌を無料にて受くることを得。

第八條　退會せんとする者は其旨本支會事務所に報知すへし。死亡は親戚知人より通知せらるへし)

第九條　本支會に左の役員を置く、

(い)支會長　一名、　副支會長　一名、

幹事　六名、　評議員　十名、

(ろ)書記、會計、庶務は幹事中より各二名づゝ互撰分擔す

第十條　役員は任期滿一ヶ年とし毎年五月總會に於て投票を以て之を定む。

第十一條　本支會長は本會を總理し副支會長は支會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し幹事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し會計、書記、庶務、各其事に當る(但し書記は都合により定員外のものに臨時依托する事あるへし)

第十二條　集會

集會は例會、總會、評議員會及臨時會とす。

(い)集會。八月を除く外毎月一回第三の日曜日に之を開く。

(ろ)總會。五月適宜の日を以て之を開く。

(は)急要の件あるときは臨時會若しくは評議員會を開きて評議する事あるへし。

第十三條　評議

毎會學識經驗ある知名の士に囑托して衛生上の講義演說又は之に關したる實驗等をも爲し本支會員に聽講せしむ。

但し會員は知人家族等誘引して參會することを得、(此際出席の衣服は總て質素たるへし)

第十四條　講義演說等は男子の傍聽を禁ず、但し贊成員若しくは會員の緣故ある男子は此限り非らず、と雖本支會の都合により臨時謝絕することあるへし。

第十五條　毎會開會の實況等を本部へ送致するものとす。

第十六條　會計

本支會の所有金は本支會の名義を以て第百四銀行に預け置くものとす。

第十七條　本支會々費の收入金は之を折半して本部へ便宜之を回送するものとす

第十八條　總會に於て會計の收支決算及成績等を報告するものとす。

第十九條　會員中若し本會の障害となるへき所爲ある者又は會費を滯納するものあるときは本支會長評議會の決議を經て除名する事あるへし

第二十條　玆に記述したる數條の他その必要と認むへき事項あらは成る可く本部の規則を適用するものとす

第二十一條　本支會規則は本支會長の意見又は會員二十名以上の贊成により總會の意見を經るに非ざれば濫に之を變換する事を得ず。

明治三十四年十月創立

私立大日本婦人衛生會
茨城支會

事務所、水戸市上市田見小路二十五番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會 新潟支會規則

第一條 本會は大日本婦人衛生會に倣ひ婦人衛生の研究を目的とし兼て一般慈善事業を爲すにあり

第二條 當支會の會費は左の六種とす

終身會員 一時限り出金貳拾圓
特別會員 毎月 金參拾錢
通常會員 仝 金貳拾錢
支會員 甲 毎月 金拾錢
乙 仝 金五錢

第三條 入會せんとするものは役員に申出て其承認を得べし

第四條 會費毎月拾五錢以上を納むるものには本會衛生雜誌を配布す

第五條 會費は雜誌料として一部を本會へ納め殘金は銀行へ貯蓄して衛生慈善資金とす

第六條 支會には會長一名副會長一名評議員十五名幹事五名理事一名を置く

第七條 會長副會長は總會に於て公撰し評議員幹事は會長之を撰任す各役員の任期は一ヶ年とし再撰するを得役員は總て無給とす支會は毎月六日通常會を開き衛生及び慈善に關する演說をなすべし

第八條 毎年一月總會を開き支會の要務を擧行す

第九條 本會は毎年春期懇親會を催し時宜によりては慈善販賣店慈善演藝會等を開くことあるべし

第十條 天災事變に際し慈善救濟を要する場合に於ては特に會員中の有志者より物品の寄贈を募ることあるべし會員外の篤志者より臨時金品の寄附あるときは役員の協議を以て特待員又は賛成員となすべし

第十一條 一般慈善事業の賛助天災事變の救濟の事務は役員會の決議により實施するものとす

第十二條 支會々員は服裝其他を質素にし集會の際は成可く綿服を着用すべし

第十三條 特に本規則に揭げざるものは私立大日本婦人衛生會の規則を準用す

明治廿九年四月創立

新潟支會

事務所新潟市旭町一番町十番戸
河上フサ子方

私立大日本婦人衛生會 山形支會規則

第一條 本支會は私立大日本婦人衛生會々員山形市在住者を以て組織す●第二條 本支會に會長副會長の外幹事四名商議員若干名を置く會長副會長は公撰し幹事商議員は會長之を撰任す役員の任期は一ヶ年とす●第三條 本支會は毎月一回(第一日曜日)講話會を開き毎年一回(五月)總會を開き講話の外役員の撰擧庶務會計の報告をなす●第四條 入會せんと欲するものは宿所姓名並に第五條の通り會費を添へ會員に紹介を依賴すべし本支會を退會せんとする時は其旨幹事に申出づべし●第五條 本會々費は會計幹事に納むべし但し六ヶ月又は一ヶ年分新に入會のものは其月より六月又は十二月迄の分を一時に納むべし●第六條 服裝は精誠質素なるを要す上着及羽織は綿布を用ゐるを禁ず

明治三十三年二月四日創立

事務所山形市旅籠町對築四通 百八十九、北島八方

山形支會

私立大日本婦人衛生會 宇都宮支會規則

第壹條 本支會ハ私立大日本婦人衛生會宇都宮支會ト稱ス●第貳條 本支會ニ會長一名副會長一名評議員拾五名幹事四名ヲ置ク會長副會長ハ公撰シ評議員幹事ハ會長之ヲ撰任ス各役員ノ任期ハ一ヶ年トス●第參條 毎月壹回(第壹日曜日)講話會ヲ開キ毎年五月講話ノ外役員ノ改撰庶務會計ノ報告ヲナス●第四條 入會ハ宿所姓名ニ第五條ノ通リ會費ヲ添ヘ事務所ヘ申込ミ又ハ會員ニ紹介ヲ依賴スベシ本支會ヲ脫會又ハ本會ヲ退會セントスル件ハ其旨ヲ事務所ニ屆出ツベシ●第五條 本會々費ノ外別ニ支會々費ヲ要セズ會費ハ一時ニ六ヶ月又ハ十二ヶ月分、新タニ入會ノモノハ其月ヨリ六月又ハ十二月迄ノ分ヲ納ムベシ●第六條 本支會ハ別ニ支會々員ヲ置キ支會會費トシテ一ヶ月金五錢ヲ納ハルモノトス●第七條 講話會ニ出席ノ節ハ成ルベク家族又タハ知合ノ婦人ヲ誘引シ陪聽セシムベシ●第八條 服裝ハ精誠質素ナルヲ要ス上着及羽織ハ綿布ヲ用フルヲ禁ズ●第九條 特ニ支會規則ニ揭ケザルモノハ本會ノ規則ヲ準用ス

明治三十四年二月三日創立

事務所宇都宮市馬場町

宇都宮支會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十六年四月四日第三種郵便物認可（明治三十一年二月二十八日內務省許可）

私立大日本婦人衛生會徽章規程

第一條　大日本婦人衛生會々員は其會員たることを表章するため左の徽章を用ゆ

第二條　會員章は本會幷に支會の集會に出席する場合は勿論襟止兼用の便あるを以て成るべく平素佩用して廣く本會の普及を圖るを要す

第三條　本會徽章は左の實價を以て會員に頒つ



●通常會員章
第一號　メッキ製拾五錢、送費六錢
第二號　正銀製五拾錢、送費六錢

●終身及特別會員章
第三號　壹圓、送費九錢

歯科診療
（電話本局千六百六番）
歯科醫　高橋孝子
歯科醫　高橋虎一
東京日本橋區本町二丁目

御入會注意

御入會の際は三ヶ月以上の會費前納にて申込まるへし會員章は上段記載の實價にて御頒ち申候へども送費とも必らず御前納のこと

東京府下に限り毎月會費領收人を差出すべしと雖も郡部の方は地方會員の部として領收者差出不申候也

迫て支會々員は支會へ會費納めらるべきことゝす

一　會費は郵便小爲替にて本會事務所々在の郵便局（東京牛込郵便局）宛振出あるべし又價格表記通運便、何にても差支なし

一　會費受領證を要する節は送費として郵券一錢五厘封入せられたし

一　轉居せられたるときは其旨必らず本會事務所宛通知せらるべし

一　會員中若し本會の障害となるへき所爲ある者又は屢々會費を督促するも納付せさるものは役員會の決議を經て除名し若くは廣告することあるべし

廣告料　一行十錢　一頁參圓　總て前金

本誌定價一部廿錢　毎月一回發行

東京市牛込區矢來町三番地中丸、四
發行所　私立大日本婦人衛生會
東京牛込區矢來町三番地
編輯兼發行者　田中德三郎
東京牛込區市谷加賀町一丁目十二番地
印刷者　斤上義章
東京牛込區市谷加賀町一丁目十二番地
印刷所　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN